

# 水薬用チャイルドレジスタンス容器 導入モデル調査

## 報 告 書

平成24年3月

東京都生活文化局消費生活部



# 目次

<b>1 調査の趣旨</b> .....	1
<b>2 調査の実施</b> .....	2
(1) 調査の基本設計.....	2
(2) 調査対象及び方法.....	2
ア 消費者に対するCR容器導入モデル調査.....	2
イ 協力薬局等に対するCR容器導入モデル調査.....	2
ウ 協力薬剤部に対するCR容器の意識調査.....	2
(3) 使用容器.....	2
(4) 配付物.....	3
ア 消費者に対する配付物.....	3
イ 協力薬局等に対する配付物（一薬局当たり）.....	4
ウ 協力薬剤部に対する配付物（一薬剤部当たり）.....	4
<b>3 結果</b> .....	5
(1) 消費者に対するCR容器導入モデル調査.....	5
ア CR容器の認知度.....	6
イ CR（考え方）の認知度.....	7
ウ CR容器を使用した感想.....	8
エ CR容器の必要性と誤飲防止効果.....	10
オ CR容器利用の意識と受け入れられる価格.....	12
カ 自由意見.....	14
(2) 協力薬局等に対するCR容器導入モデル調査.....	16
ア CR容器の認知度.....	16
イ CR（考え方）の認知度.....	16
ウ 調剤時の使用感と患者の保護者に対して行った説明.....	17
エ CR容器の誤飲防止効果.....	19
オ 今後の使用についての意識.....	20
(3) 薬剤部（科）に対するCR容器の意識調査.....	21
ア CR容器の認知度.....	21
イ CR（考え方）の認知度.....	21
ウ CR容器の使用感と、必要と想定される説明.....	22
エ CR容器の誤飲防止効果.....	23
オ 今後の使用についての意識.....	23

<b>4 結果の考察と今後の課題</b> .....	<b>24</b>
(1) 「CR容器」「CRの考え方」の浸透度 .....	24
(2) 3種類のCR容器を使用した感想 .....	24
(3) CR容器の効果の実際 .....	24
(4) 消費者の感じる必要性和薬局での今後の利用 .....	25
(5) 費用負担の問題 .....	25
(6) 総論 .....	26
<b>資料</b> .....	<b>27</b>

## 1 調査の趣旨

東京都では、ヒヤリ・ハット体験調査や国・専門機関の調査結果から、子供の医薬品の誤飲事故に着目し、平成 22 年度の商品等安全対策協議会（以下、「協議会」という。）において、子供の水薬を中心とした医薬品容器の安全対策について検討を行った。

協議会では、医薬品の誤飲防止のためには保護者の注意が必要であるが限界があること、また、子供が簡単に開けられない安全容器の利用が現状では一部の薬局に限られていること、さらに、安全容器について消費者の認知度が低いことなどが課題として挙げられ、安全容器の導入モデル調査の実施等の提言を行った。

本モデル調査は、この提言<sup>1</sup>に基づき、子供の誤飲防止対策を施した水薬用チャイルドレジスタンス容器（以下チャイルドレジスタンスを「CR」、チャイルドレジスタンス容器を「CR容器」という。）を、薬局・薬剤部及び消費者に使用してもらい、操作性や使用感等を調査することで、CRの考え方やCR容器への認知度向上を図るとともに、CR容器の普及に係る課題を明確化することを目的として行った。

東京都における医薬分業<sup>2</sup>の状況は、処方せん受取率が 72.6%と 7 割を超えており（日本薬剤師会調べ）、外来の患者に対する調剤の多くは開局の薬局が担っている。このため、社団法人東京都薬剤師会所属の開局薬局を中心に、実際にCR容器を使って消費者に水薬を渡してもらうこととした。

また、外来患者への調剤の機会が少ない病院の薬剤部（科）に対しても、CRの考え方やCR容器の存在を知ってもらうとともに、CR容器の普及に当たっての意見を収集することを目的として、アンケート調査を実施した。これについては、社団法人東京都病院薬剤師会に協力を仰いだ。

本報告書では、モデル調査を実施することで、消費者のCRに対する認識を深めるとともに、モデル調査の期間中に実施した利用者アンケート等について分析を加えて掲載し、利用者の生の声からもCR容器導入による効果や課題及びその解決のための方向性を示した。

本調査は、「住民生活に光をそそぐ交付金」を活用して実施した。子供を守る今後の施策の一助となれば幸いである。

最後に、調査に協力いただいた薬剤師会及び関係者の方々に深く感謝の意を表す。

---

<sup>1</sup> 平成 23 年 4 月東京都商品等安全対策協議会報告書「子供用水薬を中心とした医薬品容器の安全対策」参照

<sup>2</sup> 医師（歯科医師）と薬剤師の二人の専門家により医薬品の使用を二重にチェックし、患者一人一人に処方された薬の効果や安全性を一層高めようとする制度

## 2 調査の実施

### (1) 調査の基本設計

本調査は、以下の3つから構成される。

- ・消費者に対する調査
- ・実際にCR容器により調剤した薬局・薬剤部に対する調査
- ・医療機関の薬剤部に対する調査

### (2) 調査対象及び方法

#### ア 消費者に対するCR容器導入モデル調査

都内の254薬局（医療機関の薬剤部3箇所を含む。以下「協力薬局等」という。）にCR容器、消費者用調査票等を各300セット配付し、協力薬局等にて小児用水薬を調剤する際、消費者（患者の保護者）にCR容器を使用してもらった。使用期間は平成23年10月1日から同年11月30日までとし、消費者の調査票の返送期限は同年12月31日の消印までとした。

#### イ 協力薬局等に対するCR容器導入モデル調査

上記アの254協力薬局等に、調剤時の使用感や、実際に患者の保護者に対して行った説明等について尋ねるため、調査票を1部ずつ配付し、回収・集計した。協力薬局等の調査票の返送期限は平成23年12月31日の消印までとした。

#### ウ 協力薬剤部に対するCR容器の意識調査

都内の医療機関の181薬剤部（科）（以下「協力薬剤部」という。）に、CR容器のサンプル3本、薬剤部用調査票等を配付し、調査票の回収・集計を行った。協力薬剤部への配付は平成23年10月下旬に行い、調査票の返送期限は同年12月31日の消印までとした。

### (3) 使用容器

米国のPoison Prevention Packaging Actでは、幼児の難開封性容器のうちの再封可能容器を国際規格ISO8317（2003）に定める幼児テストに合格したものとしているが、国内にはこのような規制・規格はない。本調査では日本国内で医療用医薬品（水薬）を入れる容器として十分な使用実績のあるもののうち、子供の誤飲を防ぐ構造があるとしているものをCR容器とみなし、3タイプから選定した。

各タイプ使用容器はふたの色を変えることで、容器判別を容易にした。

表1 容器タイプ

タイプ	仕様（子供の誤飲を防ぐ構造）	価格 （参考：60ml 容器）	ふた の色
タイプ1	容器のふたが、下に押し回す構造（プッシュアンドターン）になっているもの。	54 円（200 本単位、滅菌済み）	黄
タイプ2	容器のふたに、キャップカバーを被せるタイプで、カバーを押し潰しながら回すことで、ふたとカバーの溝をかみ合わせ開封する構造になっているもの。	本体 26 円（200 本単位、滅菌済み） キャップ 9 円（100 個単位）	白
タイプ3	容器のふたに、キャップカバーを被せるタイプで、カバーの一部をふたに押し付けながら回すことで、ふたとカバーの溝をかみ合わせ開封する構造になっているもの。	本体 31 円（200 本単位、滅菌済み） キャップ 15 円（200 個単位）	青

（ 価格は HP 及びカタログ調べ）



図1 各タイプのふたの外観

(4) 配付物

ア 消費者に対する配付物

協力薬局等を通じて消費者（患者の保護者）に配付したものを表 2 に示す。消費者用の調査票は往復はがき大で、CR 容器の種類により 3 種類に色分けした。

表2 消費者への配付物

配付物	備考	添付資料
CR 容器	1 個 タイプ 1~3 のうち一つ （容量は患者に合わせ 60ml か 100ml かを選択）	
消費者用 調査票	1 枚 ふた色と同色の調査票 （往復はがきサイズ、保護シール付き）	資料
リーフレット	1 枚 A5 版 中折	資料
使用方法	1 枚 A5 版	資料

イ 協力薬局等に対する配付物（一薬局当たり）

上記アの配付物 300 セットの他、調査概要説明書や薬局内掲示用ポスターを配付した。

表 3 協力薬局等への配付物

配付物		備考	添付資料
調査概要説明書 （協力薬局等用）	1 部	A4 版	資料
上記アの配付物	300 セット		
掲示用ポスター	1 部	B4 版	資料

（後日郵送）

協力薬局等用 調査票	1 枚	A4 版 両面	資料
返信用封筒	1 枚	角 3 号	

ウ 協力薬剤部に対する配付物（一薬剤部当たり）

表 4 協力薬剤部への配付物

配付物		備考	添付資料
調査概要説明書 （協力薬剤部用）	1 枚	A4 版 両面	資料
C R 容器サンプル	3 個	3 タイプ（60ml 用）各 1 本	
協力薬剤部用 調査票	1 枚	A4 版 両面	資料
返信用封筒	1 枚		
リーフレット	2 枚	A5 版 中折	資料
掲示用ポスター	1 部	B4 版	資料



### 3 結果

#### (1) 消費者に対するCR容器導入モデル調査

患者の保護者からは、はがきで5,152通(容器タイプ別の内訳は、タイプ1:2,141通、タイプ2:1,476通、タイプ3:1,535通)の回答を得た。未記入や判読が難しい回答を除いて集計したことから、各回答の総計は設問ごとに異なっている。

回答者及び対象児の年齢構成を図2及び図3に示す。

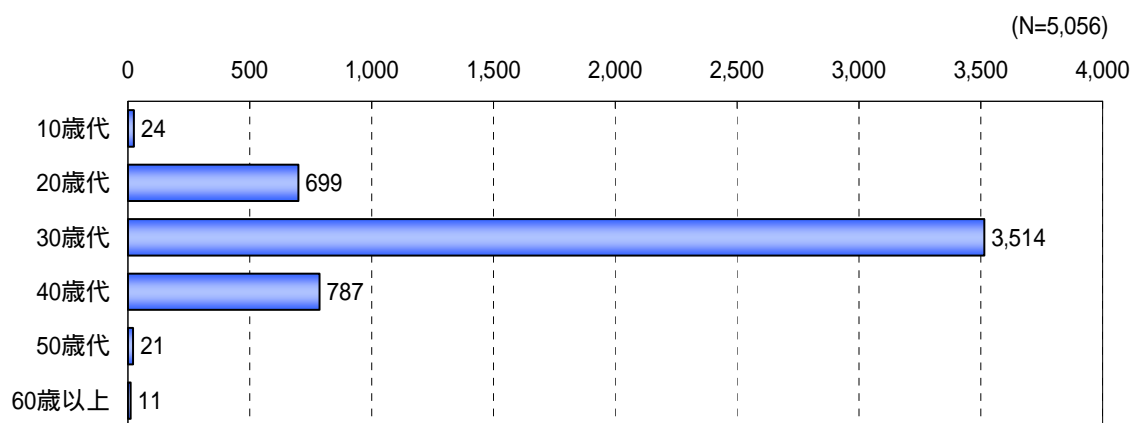


図2 回答者の年齢構成

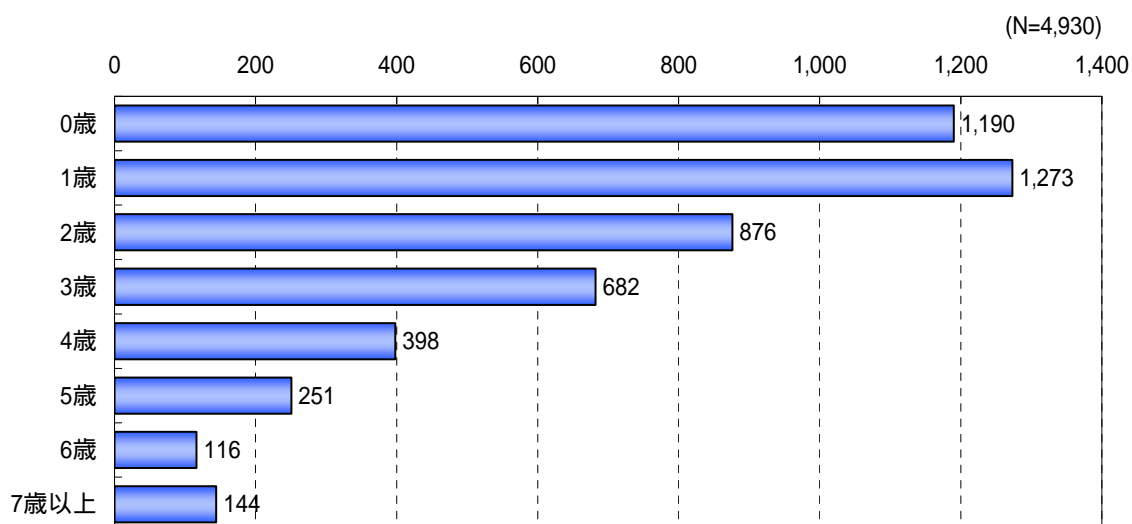


図3 対象児の年齢構成

#### ア CR容器の認知度

調査を行った水薬容器に限らず、子供の誤飲防止のために子供が開封しづらい容器があることを知っている・聞いたことがあると回答したのは、全体の45%（2,327人）だった。誤飲に必要な年齢の子供の保護者でCR容器の使用経験がある人は3割であり、今回初めてCR容器を知った人が半数以上だった。

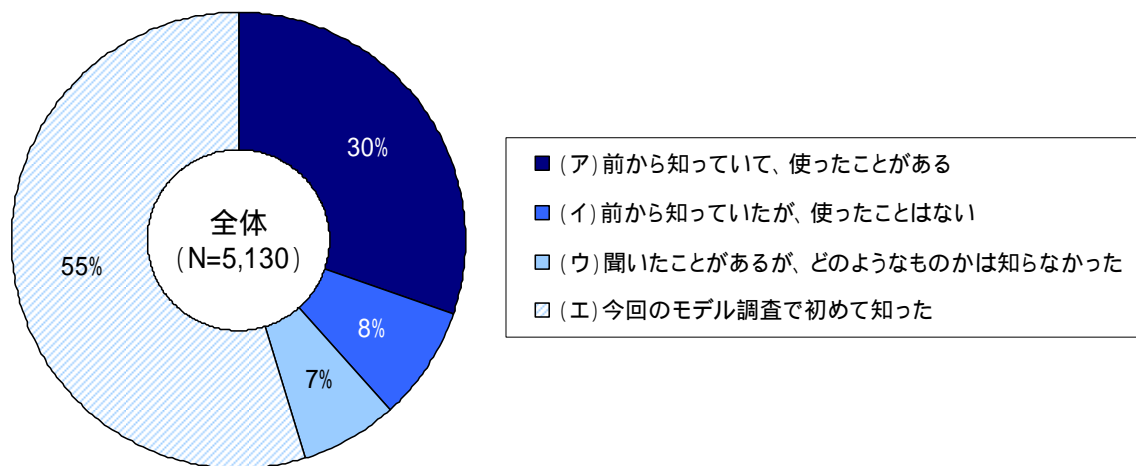


図4 CR容器の認知度（消費者）

イ CR（考え方）の認知度

CRの考え方を「初めて知った」との回答は全体の3割で、7割は「知っていた」「聞いたことがある」と回答した。一昨年に、ライターが消費生活用製品安全法の特別特定製品に指定され、CRの用語を耳にする機会が増えたことも影響していると考えられる。「初めて知った」や「どのようなものか知らなかった」保護者には、本調査を通じて、CRの考え方を広めることができた。

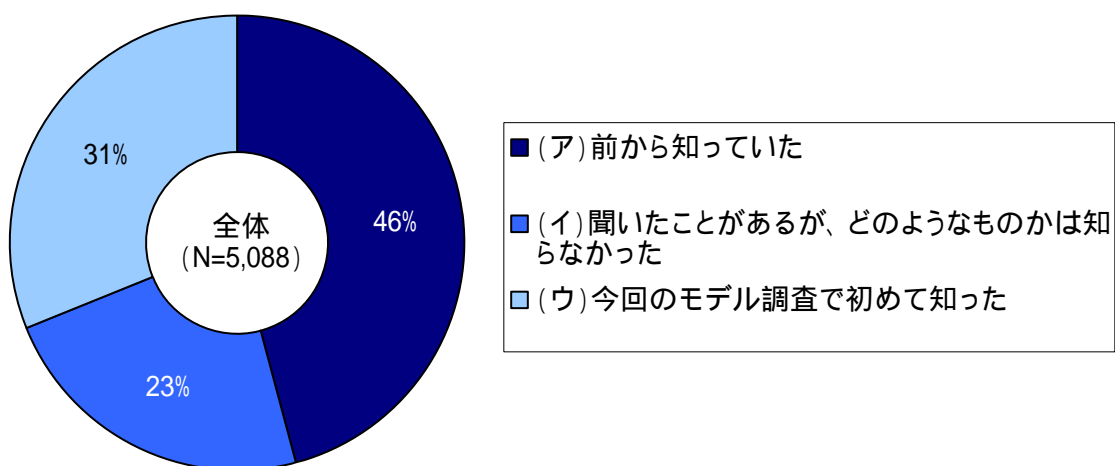


図5 CRの考え方の認知度（消費者）

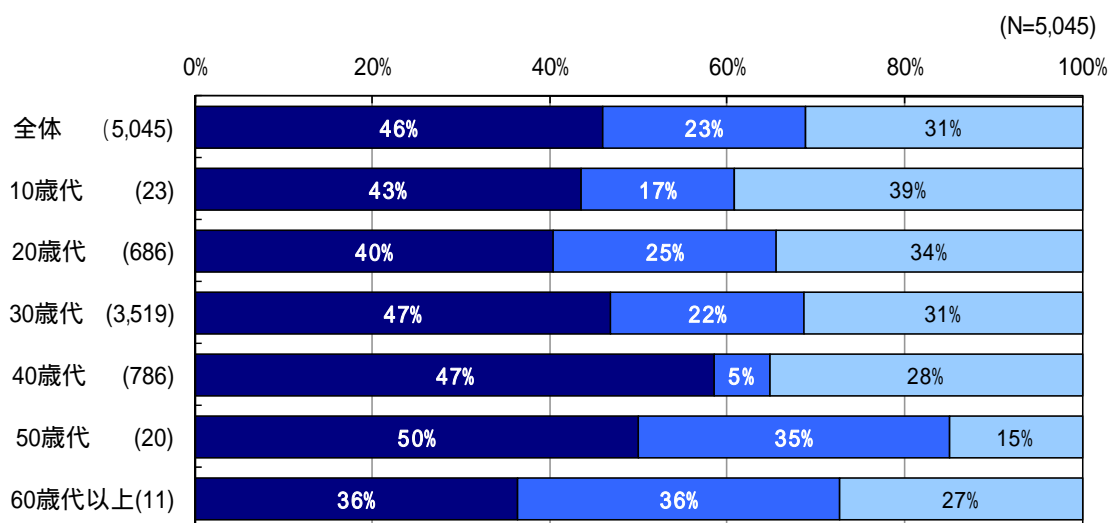


図6 CRの考え方の認知度（消費者 年齢別）

### ウ CR容器を使用した感想

「全く不自由を感じなかった」と「あまり不自由を感じなかった」の回答が6割だった。容器タイプ別の感想ではタイプ3が「不自由を感じなかった」度合いが若干大きい。各タイプで不自由を感じた理由を見ると（複数回答）タイプ1では「開けづらさ」が主な理由で挙げられ、タイプ2と3は「開けづらさ」と「閉めづらさ」を挙げた割合は同程度だった。

不自由を感じた理由の「その他」には、「開けづらい」「閉まったか分からない」「効果が無い」といった意見に混じって、「目盛が見づらい」「計量カップが付属していない」といった保護者の意見が目立った。本調査では各事業者が取り扱うCR容器のうち、最も安価な型式を選定したことから、目盛が無色で、計量カップも付属していなかった。このため、実際に使用した保護者の中には、CRの部分ではなく、目盛や計量カップの使い勝手の部分で不自由を感じてしまった方もいた。なお、製造各社は、目盛が見やすい容器や、容器にセットできる計量カップも製造販売している。

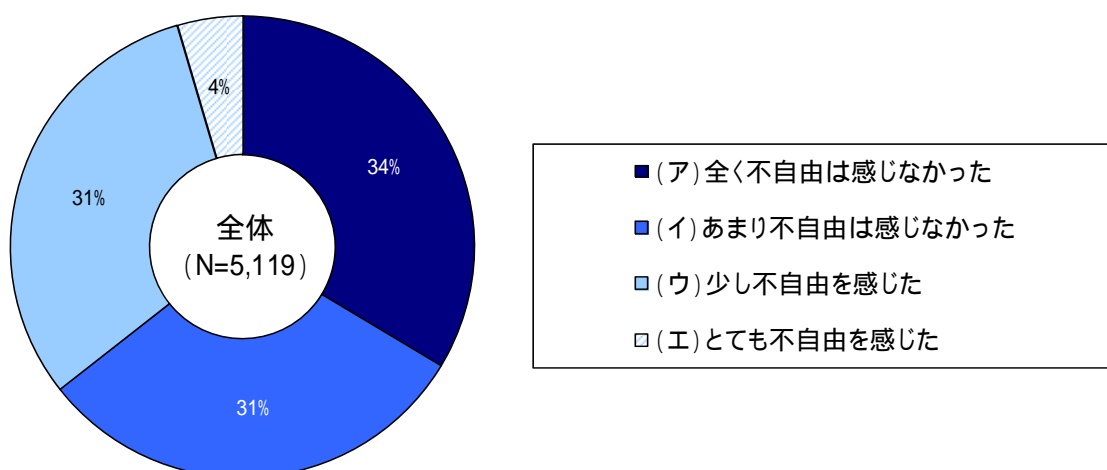


図7 CR容器を使用した感想（消費者）

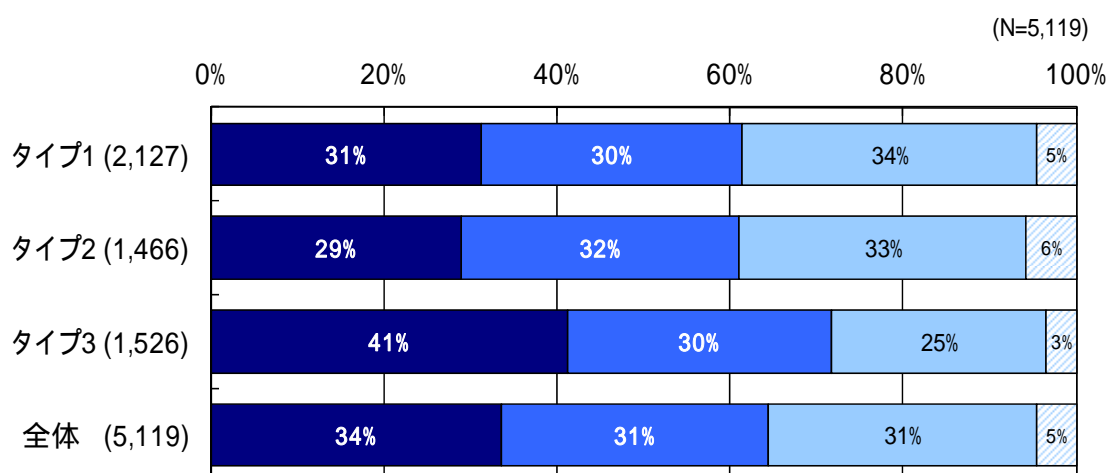


図8 CR容器を使用した感想（消費者 容器タイプ別）

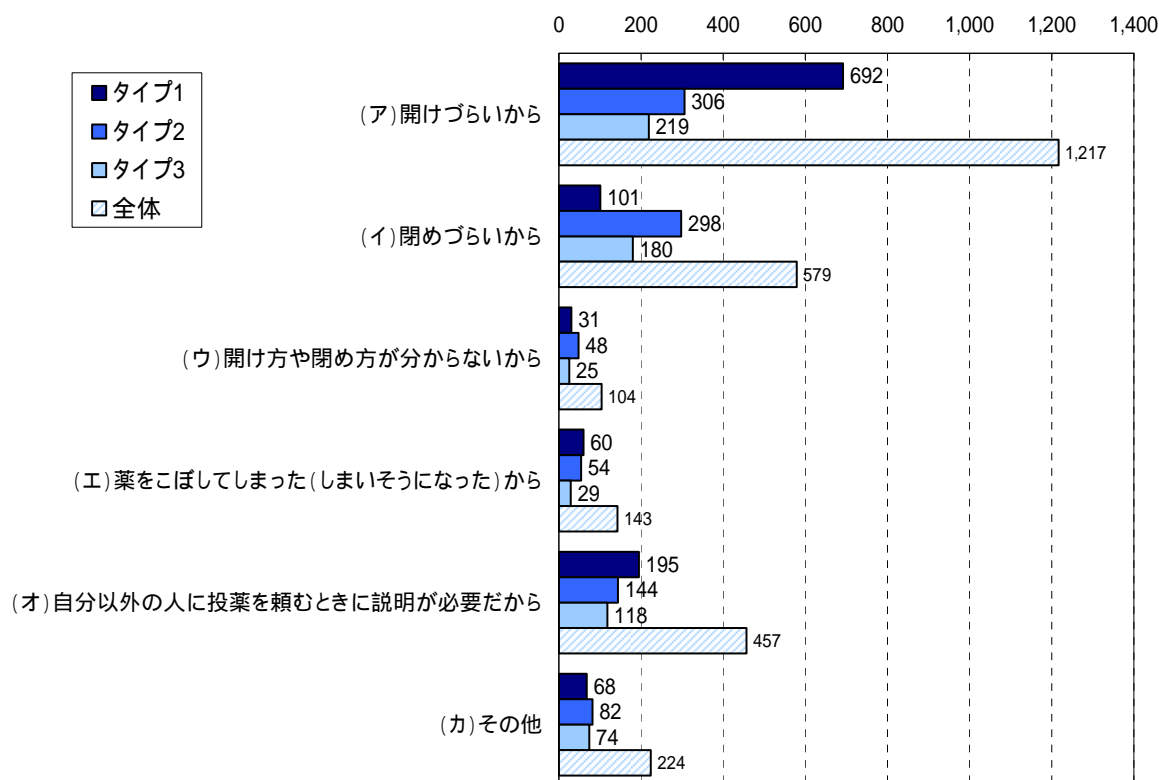


図9 不自由を感じた理由（消費者 容器タイプ別）

表2 「不自由を感じた理由」その他（224件） 自由回答抜粋

	意見
開けづらい	慣れるまでに面倒に感じる。病気の子を看病する際、親に余裕がない為(タイプ1)
閉まったか分からない	完全に閉まっているか分かりづらい(タイプ2)。 閉めた時にちゃんと閉まったのかよくわからない(タイプ3)
効果がない・必要がない	普通のもとのあまり変わらない。子供でもあけてしまえた。もう少し、あけにくいものがよい。 子どもの手の届く場所には置いておらずまた、子どももまだ小さいため、勝手に開けてしまう心配はない。それなら、普通の容器の方が簡単でよい。
目盛・計量カップに関して	ふたの上に目盛りカップがのせられるといいのに。 今までスポイト付の容器だったので、それに慣れていたので。

エ CR容器的必要性と誤飲防止効果

容器タイプにかかわらず、CR容器を「必要だ」「どちらかといえば必要だ」と考える保護者は全体の9割に上る。

また、本調査で使用した容器については誤飲防止効果が「ある」「どちらかといえばある」と評価された。「必要性」や「誤飲防止効果」についての消費者の意見には、容器タイプでは大きな差は見られなかった。効果に関する設問の「その他」の自由回答の中には、「保護者がきちんと管理すれば必要ない」「親を見て開けられてしまった。大丈夫と思って過信してしまうのが危ない」など、保護者が過信せずきちんと管理をすべきといった意見が多く見られた。

【必要性】

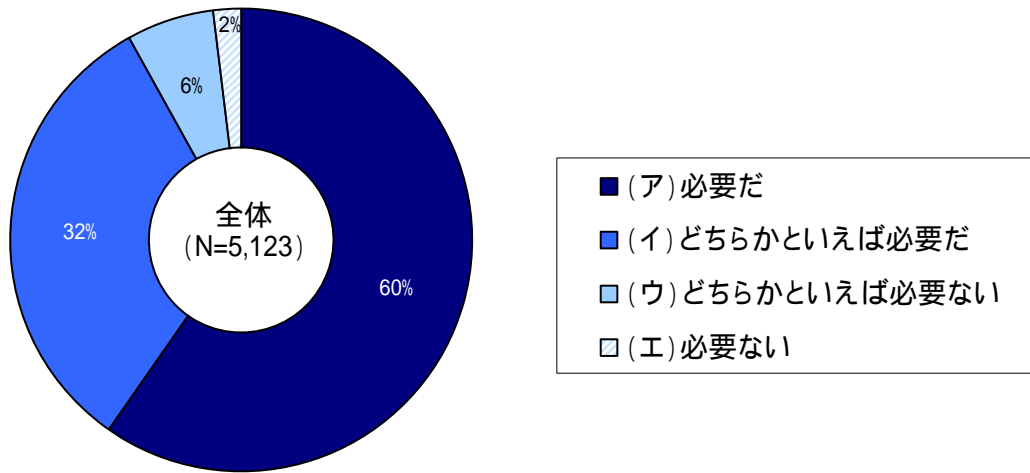


図10 CR容器的必要性 (消費者)

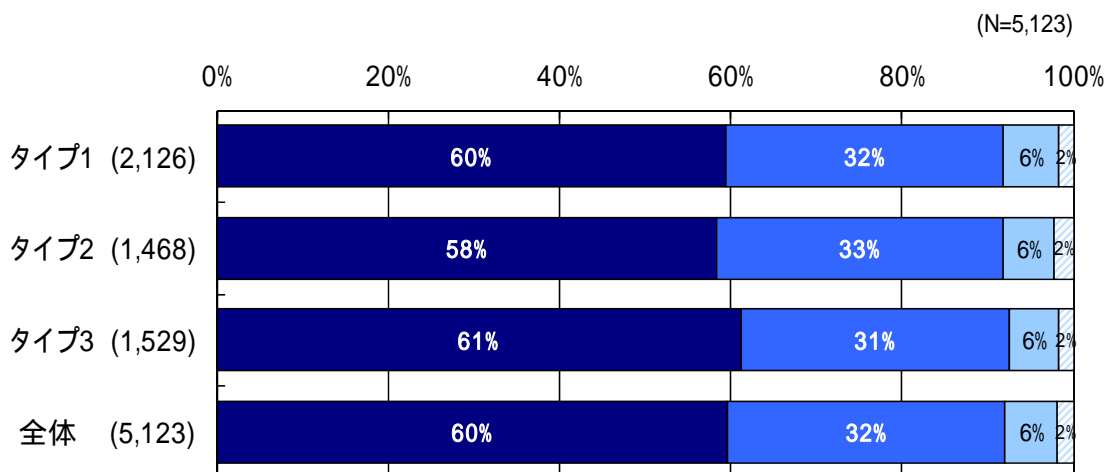


図11 CR容器的必要性 (消費者 容器タイプ別)

【誤飲防止効果】

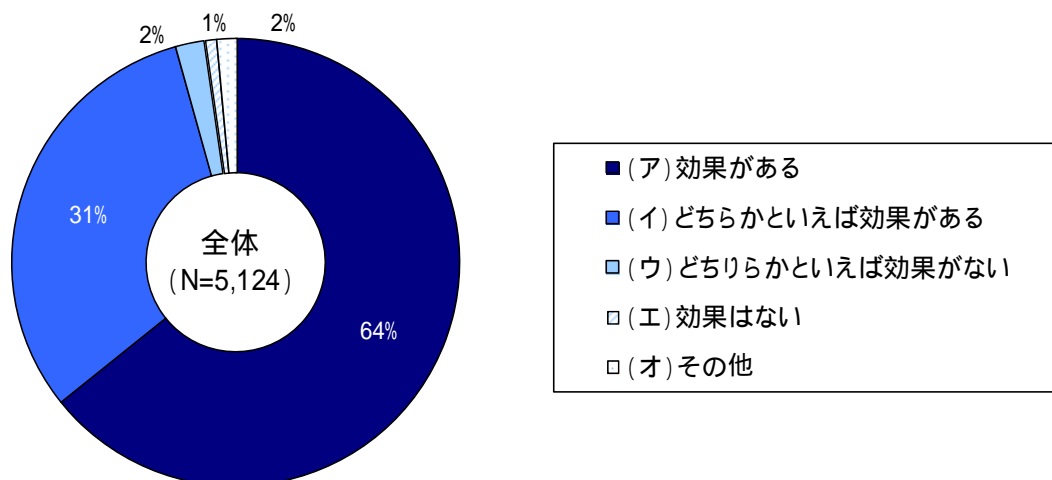


図12 CR容器的誤飲防止効果（消費者）

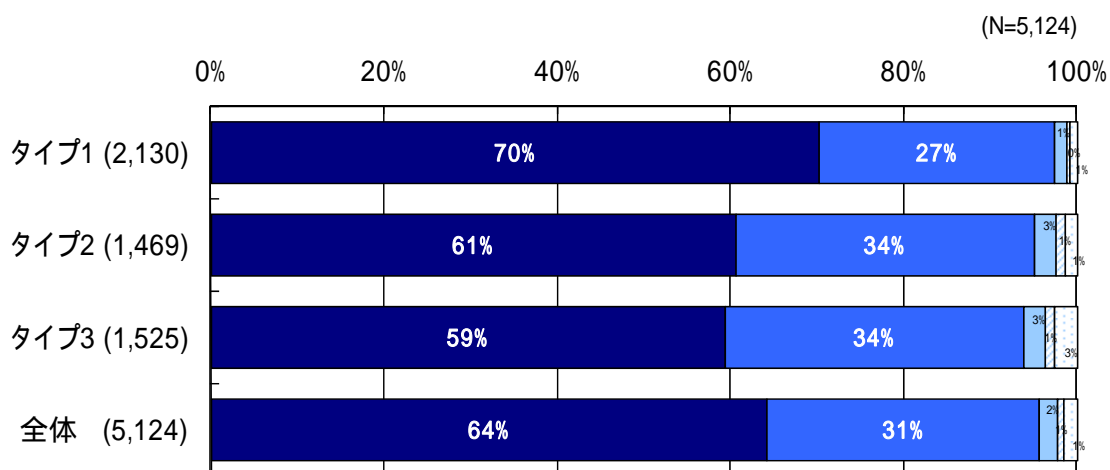


図13 CR容器的誤飲防止効果（消費者 容器タイプ別）

表3 効果に関する設問のその他（件）のうち、保護者の管理に関する意見

保護者が管理をすべき	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誤飲防止に効果はあるかもしれないけど、親が責任を持って管理することの方が、誤飲防止につながると思う。</li> <li>・容器に頼ってしまう大人が増えないといいのですが...管理がずさんになるなら、意味がないと思う。</li> <li>・効果はあるかと聞かれれば、開けにくいので効果はあるとしか答えられないが、デメリットの方が多い。</li> <li>・子供は、親のやることをよくみていて、真似をする。何回かみていればできるようになると思うので、最終的には、手の届かない所におく、ということではないか。</li> </ul>
------------	--

オ CR容器利用の意識と受け入れられる価格

容器タイプの違いにかかわらず、「利用してもよい」「どちらかといえば利用してもよい」との回答が9割近くだった。投薬容器のコストアップについては、「負担は認められない」が約3割、次いで「10円増まで」「20円増まで」と続いた。カタログ等から通常容器を1本約30円とすると、タイプ1は25円増、CR機能のない投薬容器にリングやキャップを被せるタイプ2と3はリング価格の10円～15円のコストアップとなる。

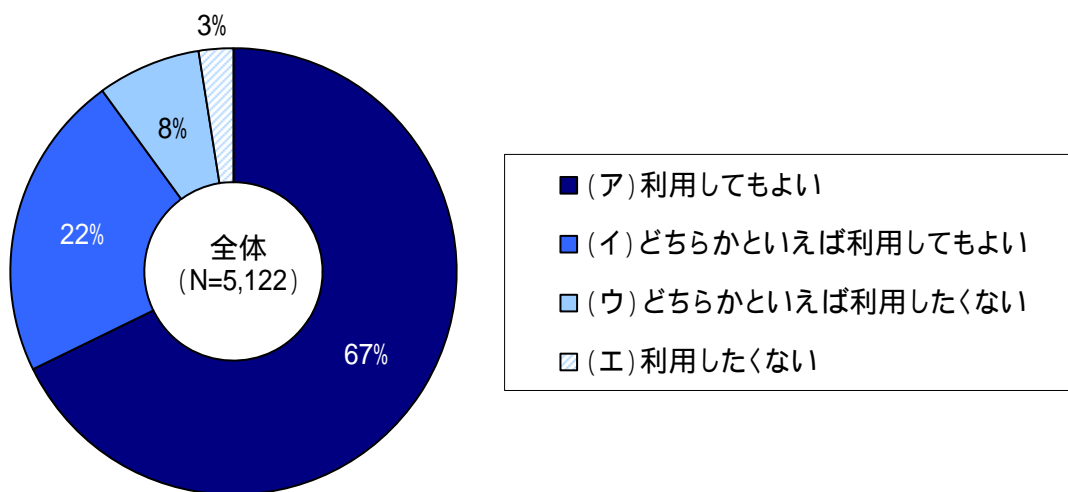


図14 CR容器利用の意識 (消費者)

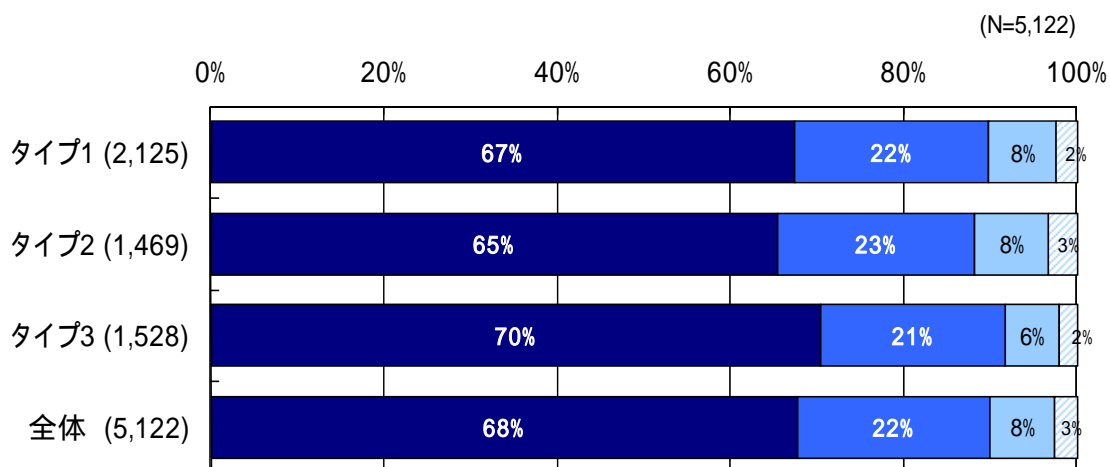


図15 CR容器利用の意識 (消費者 容器タイプ別)



【受け入れられる容器価格】

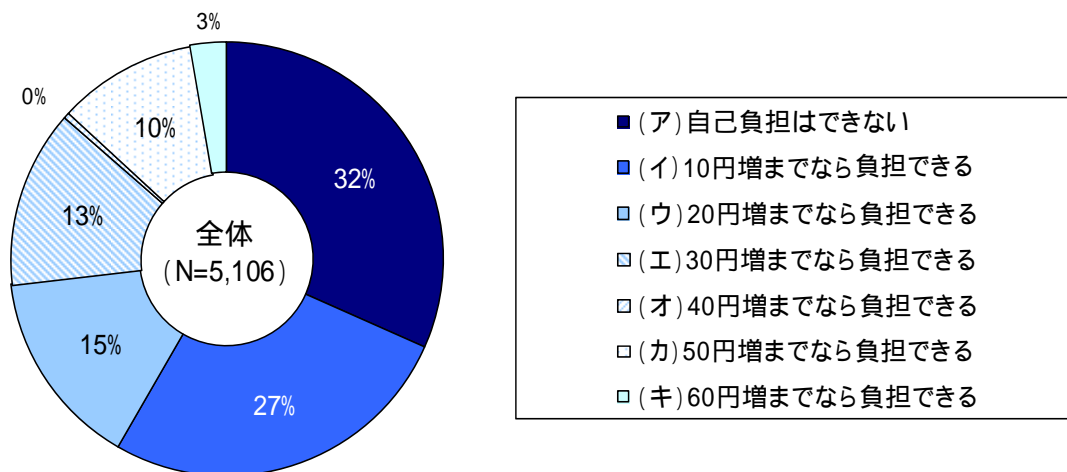


図 16 受け入れられる容器価格 (消費者)

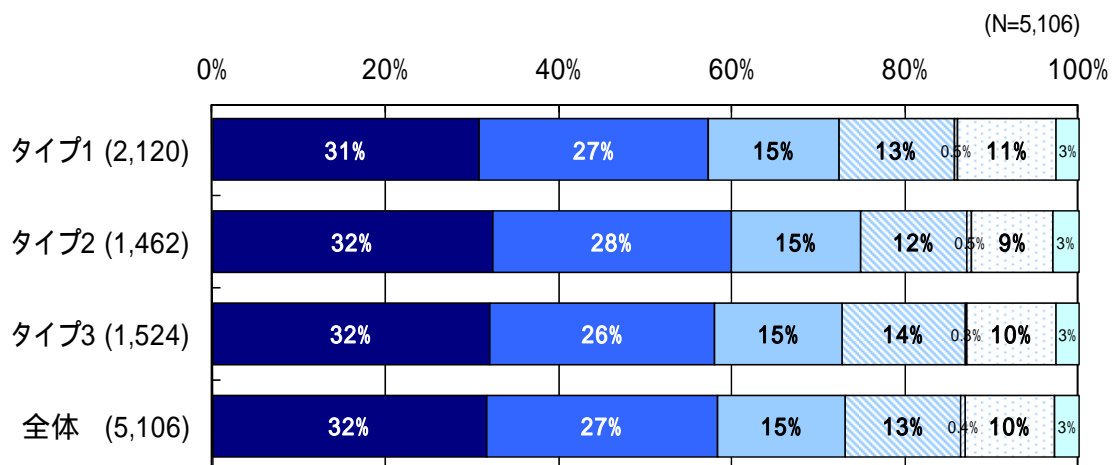


図 17 受け入れられる容器価格 (消費者 容器タイプ別)

## カ 自由意見

寄せられた自由意見についてその内容を整理し、集計した（表 4）。本集計は、各容器タイプの傾向を見るために、自由記述を類型化したものであることから、表中の数字は大まかなものである。

全てのタイプで、CRの考えやCR容器のあり方について評価する意見が最も多かった。「保護者が管理すべき」との意見は各容器で 1 割程度寄せられた。なお、「管理すべき」の割合には「管理すべきだがCR容器も必要」「管理すべきでCR容器は不要」等、容器の要不要についての双方の意見を含んでいる。

自由意見の類型化で見られた各タイプの特徴を簡単に以下に整理した。

### 【タイプ1】

3タイプ中最もCR容器の構造に対する評価が高い。市販の水薬に採用されているタイプであり、慣れていて扱いやすかったとの意見も見られた。また、子供が試みても開封できなかったことから、子供の誤飲防止効果があるとも評価されていた。一方で、「硬くて開けられない」「高齢者には使用できない」との意見や、「コストがかかるのではないか」との意見が他より多いことも特徴である。

### 【タイプ2】

リングが取り外せ、カバーリングの再利用が可能である。リングは安価であり、コストを心配する声は少ない。ただ再利用できるカバーであるがゆえに「カバーが外れやすい」「子供がリングを外してしまって効果がなかった」との意見もあった。また閉まったか分からないことが、使いにくさの要因に挙げられていた。

表 4 自由意見

	タイプ1	タイプ2	タイプ3
CRの考えやCR容器を評価	33%	21%	26%
使いにくい			
開けにくい(高齢者・障害者への配慮を含む。)	13%	8%	6%
閉めにくい(閉まったか分からない)	2%	14%	7%
子供が開けた・開けるかもしれない	2%	12%	17%
保護者が管理すべき	10%	9%	9%
容器の選択性・再利用への意見	8%	4%	6%
コストアップは課題	8%	3%	5%
CR容器は不要	5%	2%	1%
容器改良が必要	2%	2%	2%
他の誤飲防止対策も講じて欲しい	2%	1%	2%
その他	16%	22%	20%

### 【タイプ3】

保護者には開けやすいと容器の構造は好評だった。タイプ2と同様で、キャップの溝に容器のふたの溝をかませる構造であるため、「閉まったか分かりづらい」との意見があった。保護者が開けやすい反面、子供も開けられるのではないかといった意見が他のタイプよりも多かった。

表5 自由意見の内容

CRの考えやCR容器を評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故を防ぐことができるならば、どんどん採用して行ってほしい。過保護という意見もあると思うが、現代は核家族の中、母親一人で、子供を一人遊びさせながら、家事をしているのが現状。</li> <li>・化粧品の容器や市販かぜ薬にも採用されています。コツをつかめば難しくないので、どんどん採用した方がよいと思う(タイプ1)。</li> <li>・子供に試してみたが、開封できなかった。薬を飲みたがるのでこの容器はとても良いと思う(タイプ2)。</li> <li>・以前使用した時は、ふたが固くて開けるまで時間を要したが、今回は大人が簡単に開けられて使いやすい。子供に試したら開けられなかったので安心した。(タイプ3)</li> </ul>
使いにくい(開けにくい・閉めにくい)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・手が不自由又は年配の主婦は握力が弱いのでこのキャップは開けづらいので工夫がほしい。(タイプ1)</li> <li>・閉まっているか確認しづらい。もし冷蔵庫で倒れていたら薬がもれてしまう。ここまで閉めればOKという印が欲しい。(タイプ2)</li> <li>・本当に閉まっているかどうか不安。閉まっていると思っていたら、押しがたらずカラまわりで、開いていた。(タイプ3)</li> </ul>
子供が開けた・開けるかもしれない
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3つのタイプとも、子供が開けようと思えば開けられてしまう。娘は開けてしまった。</li> <li>・親を見て開けられてしまった。大丈夫と思って過信してしまうのが危ないと感じた。</li> </ul>
保護者が管理するべき
<ul style="list-style-type: none"> <li>・容器などを工夫したりすることも大切だが、保護者が、十分に気をつけることも大切だと思う。</li> <li>・誤飲は、親の責任で防げるので、このような容器は必要ない。</li> </ul>
容器の選択性・再利用への意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で選択できればうれしい(自己負担するからこの容器にして、など)。</li> <li>・3歳以下の子供のいる家はこのような容器で、それ以外の家は従来のもので、選べたらいいと思う。</li> <li>・安全キャップはリサイクルで使えるとよいかもしれないと思った。</li> </ul>
コストアップが課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・料金がかかる(上がる)のなら利用しなくて良い</li> <li>・ぜひ普及してほしいと思うが現在容器代無料で助かっているので有料だと困る。再利用もダメと言われ、子どもは月何回も薬が必要になるので。</li> </ul>
他の誤飲防止対策も必要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全キャップを洗剤などにも応用して欲しいと思う。</li> <li>・シロップのお薬は、冷蔵庫で保管するので、1才の子供だと、誤飲は、あまり、考えられない。錠剤の方が、バッグに入れてたりするので何でも口に入れる赤ちゃんにとっては心配。</li> </ul>

## (2) 協力薬局等に対するCR容器導入モデル調査

協力薬局等からは、254 薬局中 88% (223 件) の回答を得た。

### ア CR容器の認知度

CR容器の存在については「使ったことがある」26%、「知っていたが使ったことはない」が60%、「聞いたことがあるが、どのようなものか知らなかった」が10%で、合わせると96%の人が何らかの形で知っており、意識の高さがうかがえた。

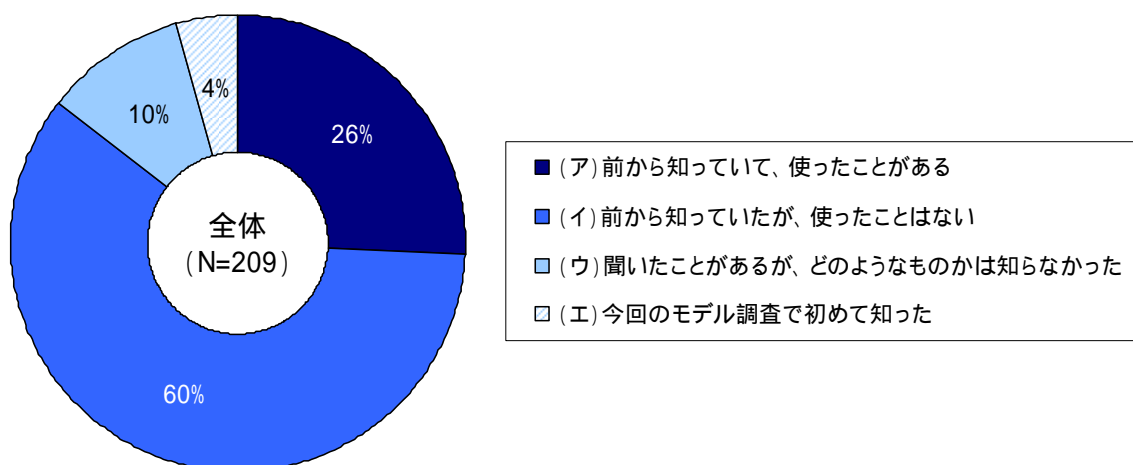


図 18 CR容器の認知度（協力薬局等）

### イ CR（考え方）の認知度

CRの考え方は、CR容器の認知度と同様、協力薬局等では広く認知されていた。一方で、4分の1は「どのようなものか知らなかった」「初めて知った」と回答した。

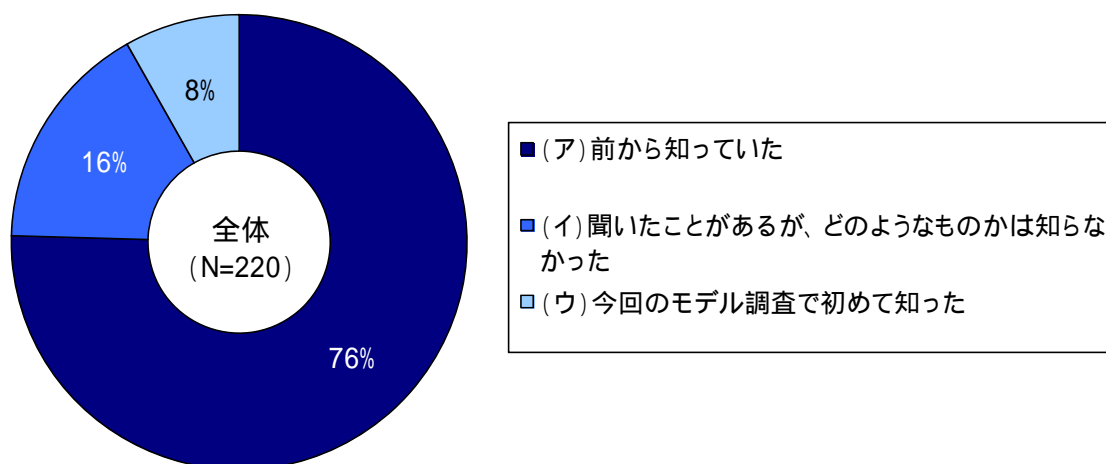


図 19 CR（考え方）の認知度（協力薬局等）

ウ 調剤時の使用感と患者の保護者に対して行った説明

C R 容器で調剤を行った際の使用感について、図にまとめた。

「全く」又は「あまり」不自由を感じなかったとの回答の合計は、タイプ1が最も多く、タイプ2、タイプ3の順だった。

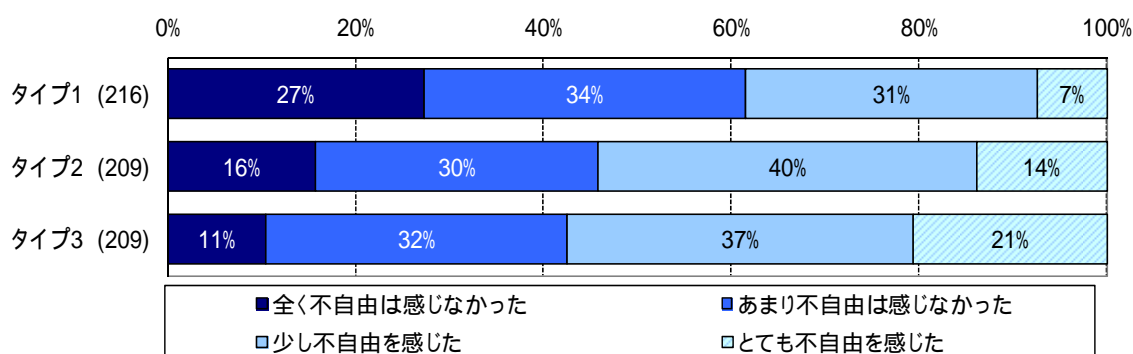


図 20 調剤時の使用感（協力薬局等 容器タイプ別）

各タイプについて代表的な自由意見を表6に示す。

協力薬局等の自由意見からは、調剤や消費者への説明を通じての観点が多く記入され、消費者の意見とは違った課題が指摘されている。

タイプ1は他の薬剤等でも使用されなじみがあることや、閉めるときに特別な操作が不要であることが評価されている。一方で開けづらく調剤に時間がかかってしまったという意見もあった。

タイプ2は調剤時のリング装着の負担は少なく依頼をしやすいとの意見があった。不自由を感じた回答の多くが、ふたがしまったか分かりづらい点を挙げていた。

タイプ3は、誤飲防止のため、一度被せたカバーは外れないことが特徴である。消費者には使いやすく好評であったが、調剤時にはカバーがきつく不自由を感じた理由となった。

表 6 自由意見

	・全く不自由は感じなかった ・あまり不自由は感じなかった	・少し不自由を感じた ・とても不自由を感じた
タイプ1	<ul style="list-style-type: none"> <li>このタイプのは薬剤で使用したことがあるのであまり気にならなかった。</li> <li>閉める時、普通に回すだけでロック出来るのはこぼれることなくとても良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調剤時、すぐにキャップがあけられない不自由さ。</li> <li>市販のカゼ薬等の容器として使い慣れている方とうまく使えない方に分かれた。</li> </ul>
タイプ2	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふたと安全キャップが別だったので、キャンペーン協力依頼をする時楽だった。</li> <li>誤飲防止キャップをセットするのが簡単だった（はずすのも可能だった）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特にふたをしめる時、きちんとしまったか分からない。</li> <li>かぶせキャップをつまむのに力が要る。</li> </ul>
タイプ3	<ul style="list-style-type: none"> <li>3種の中では一番簡単で希望する方が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふたをしめたのかしまっていないのかよくわからない。</li> <li>外キャップをはめる時、とても力が必要だった。</li> </ul>

薬局等で保護者に対して行った説明について、選択肢では、各タイプで大きな違いは見られなかったが、自由回答には、タイプ1では「ふたの押し方」、タイプ2と3とでは「閉め方」を説明したとの記述もあり、各タイプに応じて、薬局で丁寧に説明が行われている様子が伺えた。また、「実際にお客様に開けてもらいました」との回答のように、不慣れなCR容器を保護者が戸惑うことなく開閉できるよう、実演したり試してもらった薬局も多くあった。

表7 保護者に対して行った説明

有効回答者数： 215                      200                      196

記号	回答内容	タイプ1	タイプ2	タイプ3
(ア)	開ける方法	92.6%	89.0%	89.3%
(イ)	閉める方法	66.0%	73.0%	72.4%
(ウ)	開け閉めの注意点	65.1%	65.5%	65.3%
(エ)	薬の保管方法(子供の手が届かない所へ保管)	40.0%	40.5%	40.3%

## エ CR容器の誤飲防止効果

協力薬局等は保護者の回答よりも「効果がある」との回答割合は低い傾向にあるものの、多くの薬局・薬剤部（科）が「効果がある」「どちらかといえば効果がある」と感じていた。

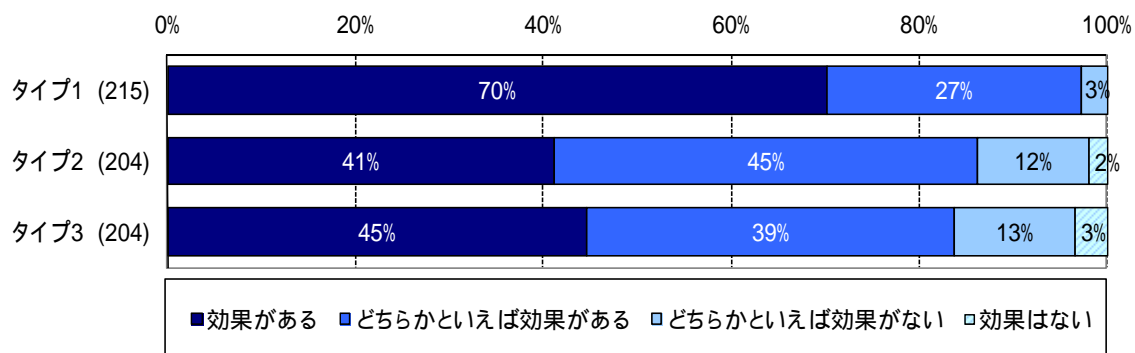


図 21 CR容器の誤飲防止効果（協力薬局等 容器タイプ別）

オ 今後の使用についての意識

消費者の 9 割が C R 容器使用に対して肯定的な意見だったのに対し、協力薬局等の回答からは、C R 容器導入への課題が指摘されている。使用についての意識は図 22 の通りで、タイプ 1 は半数近くが肯定的な意見であったものの、タイプ 2 と 3 とは 4 分の 1 程度にとどまった。

各タイプの代表的な意見を表 8 に示した。

自由意見には、C R 容器の必要性とその効果を考えると必要と感じるものの、調剤時の手間や経費、患者の保護者の反応を考えると採用は難しいとの意見もあった。

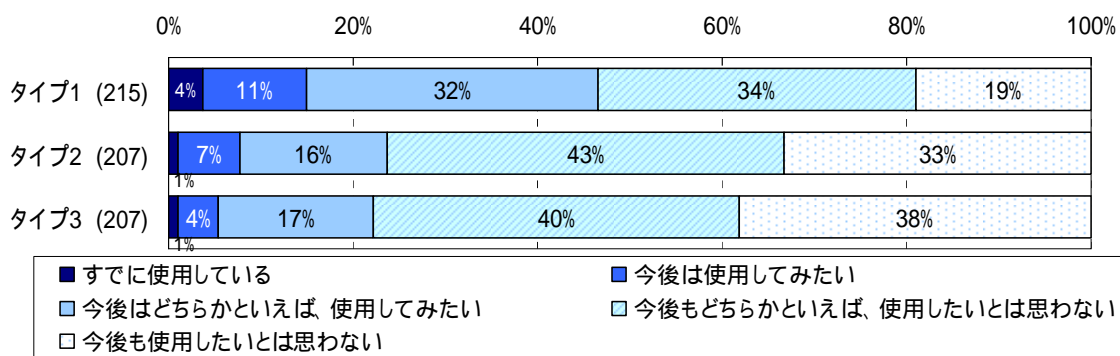


図 22 今後の使用について（協力薬局等 容器タイプ別）

表 8 今後の使用についての自由意見

	・今後は使用してみたい ・今後はどちらかといえば、使用してみたい	・今後も使用したいとは思わない ・今後もどちらかといえば、使用したいとは思わない
タイプ 1	・開封しにくいがある。 ・ふたが一体化しているのでキャップをかぶせる手間が少ない。すでに O T C で採用している製品もあり、慣れている。	・調剤、容器の開け方の説明に手間がかかる。開けにくくしたことでメリットを感じる患者さんは少なかった。逆に開けにくく、使いづらいという声が多かった。
タイプ 2	・必要なキャップをはずせば普通に使える。 ・価格も手ごろで装着も簡単でした。	・うっかり普通にふたをして、閉まったつもりでこぼしてしまいそうな気がする。 ・キャップをかぶせる手間がかかる。
タイプ 3	・今あるキャップが使えるのは良いと思います。 ・患者さんが開閉を理解しやすかった。	・誤飲防止キャップがかたくていれづらい。 ・子供でも開封をしようとした時にツメを押すことがありそう。
その他	・コストや説明の手間の割にそれ程必要とされていない感じがある。 ・C R 容器の必要性とその効果を考えると必要とは思いますが、ただ調剤時の手間や経費等考えると今のままでもいいかなと思うのが現実。	



### (3) 薬剤部（科）に対するCR容器の意識調査

協力薬剤部 181 薬剤部（科）中、回収率は72%（130件）だった。

#### ア CR容器の認知度

「前から知っていて、使ったことがある」が42%、「前から知っていたが使ったことは無い」が43%で、「聞いたことがある」の7%を含めると、92%がその存在を知っていた。認知度において薬局との差はなかったが、薬剤部の方が使用経験は高かった。

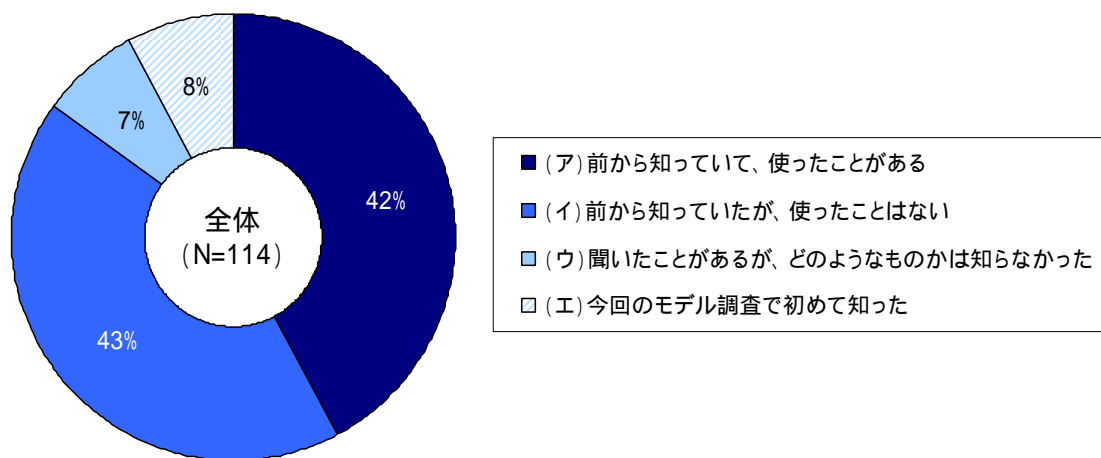


図 23 CR容器の認知度（協力薬剤部）

#### イ CR（考え方）の認知度

「前から知っていた」が79%と高く、意識の高さがうかがえる。

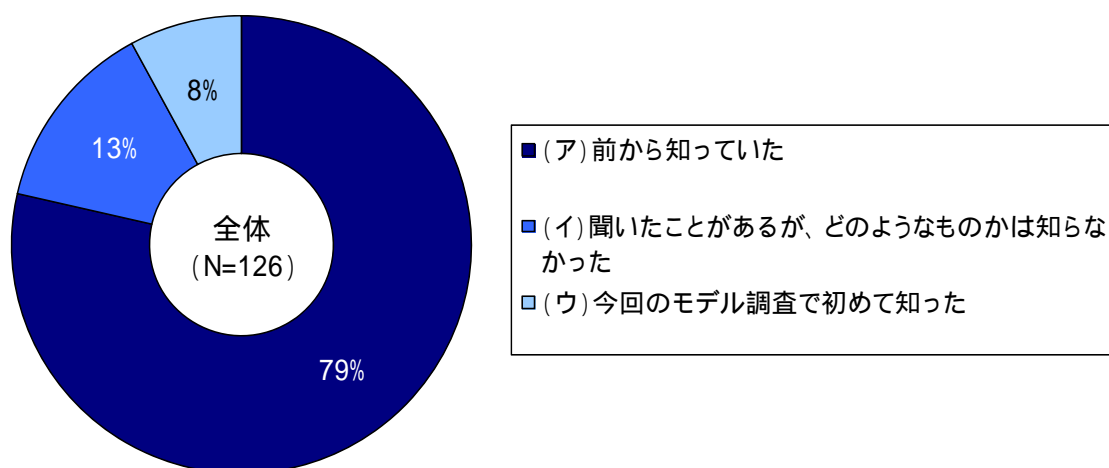


図 24 CRの考え方の認知度（協力薬剤部）

ウ CR容器の使用感と、必要と想定される説明

CR容器の使用感について、図25にまとめた。タイプ1及び2の結果は、協力薬局等と同様で、タイプ3は協力薬局等の結果に比べて「不自由を感じなかった」との回答が多かった。

必要と考えられる説明では、ふたの開閉時の説明との回答が多かったが、「薬の保管方法」(子供の手の届かない所へ保管)との回答も6割前後あった。

【使用感】

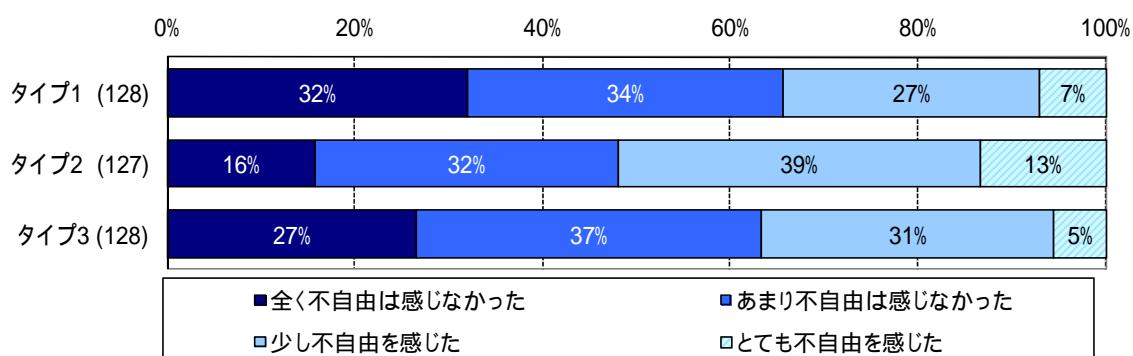


図25 CR容器の使用感(協力薬剤部 容器タイプ別)

【必要と想定される説明】

表9 必要と想定される説明

有効回答者数： 126 128 124

記号	回答内容	タイプ1	タイプ2	タイプ3
(ア)	開ける方法	86.5%	77.3%	78.2%
(イ)	閉める方法	30.2%	74.2%	65.3%
(ウ)	開け閉めの注意点	50.8%	68.0%	64.5%
(エ)	薬の保管方法(子供の手が届かない所へ保管)	55.6%	60.2%	62.1%
	無記入	-	-	-

## エ CR容器の誤飲防止効果

各CR容器の誤飲防止効果の回答結果は、おおむね協力薬局等の結果と同様だった。

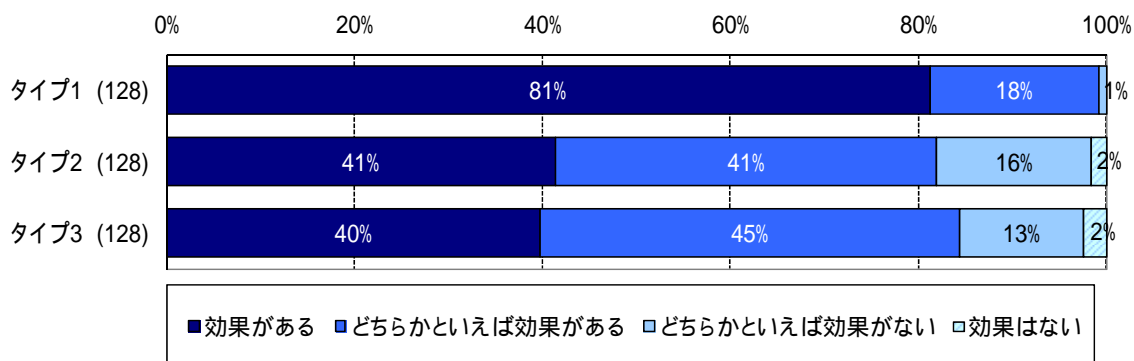


図26 CR容器の誤飲防止効果（協力薬剤部 容器タイプ別）

## オ 今後の使用についての意識

協力薬剤部の回答は協力薬局等の回答に比べ、タイプ3の「使用してみたい」回答が多かったが、その他は同様の傾向を示した。自由記述の内容を整理したものを表10に示す。

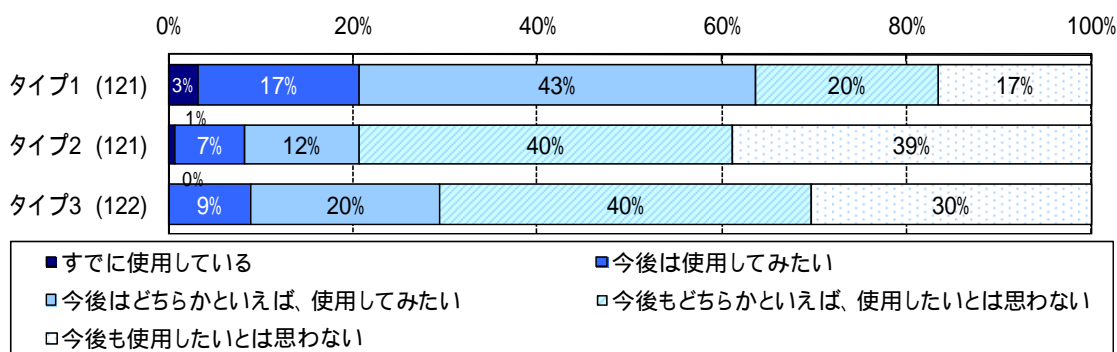


図27 今後の使用について（協力薬剤部 容器タイプ別）

表10 今後の使用についての自由意見

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は使用してみたい</li> <li>・今後はどちらかといえば、使用してみたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も使用したいとは思わない</li> <li>・今後もどちらかといえば、使用したいとは思わない</li> </ul>
タイプ1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一の目的である、「開けづらくする」ことだけに特化し、閉める際に不都合を感じない</li> <li>・CRの必要性がより高まってくれば使いたい。コストとの折り合いもある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人、リウマチ等には指先が不自由な人にはかなりむずかしいか、説明に時間がかかりそう。</li> </ul>
タイプ2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在つかっている容器にカバーリングだけ買いたせばよい。</li> <li>・安全性と開閉のしやすさの両面がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分達も正しく扱えるか不安である。</li> <li>・子供が強く押ししたり叩いたり引っ張ったりすると外れてしまう。</li> </ul>
タイプ3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誤飲予防に効果的かつどのような患者も比較的扱いやすいから。</li> <li>・構造が簡単。押さえる場所だけ説明すればOK。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何かの拍子に偶然ツメの部分を押してしまつて、子供が開ける可能性がある。</li> </ul>
その他	CRテストのはっきりした結果があれば、わかりやすい。	

なお、「小児科がないため、使用したいとは思わない」との回答は各タイプとも20～30%を占めている。

## 4 結果の考察と今後の課題

### (1) 「CR容器」「CRの考え方」の浸透度

調査結果によれば、CR容器があることを以前より知っていた消費者は4割だったが、協力薬局等及び協力薬剤部では8割を超え、よく知られていることが分かった。ただし、薬局や薬剤部で「知っていた」と回答したうち1/2から2/3程度は、実際にCR容器を使用した経験はなく、この他の「どのようなものか知らなかった」「初めて知った」と回答した薬局等と併せ、今回の取組によって容器の存在について周知し、実際に使用してもらう機会を設けることができたと言える。

CRの考え方を「知っていた」は、消費者が4割、協力薬局等及び協力薬剤部は8割近くで、CR容器の認知度と同傾向だった。今回の取組では、「どのようなものかは知らなかった」「今回初めて知った」消費者及び薬局・薬剤部にも、考え方を伝えることができた。このことから、普及の前提である「CR容器を使用してもらい、その存在を知ってもらう」「CRという考え方を知ってもらう」土壌作りの第一歩となったと考える。

回答の中には「CRの考え方が少しずつ浸透していくことを望みます」のようにCRを評価し、その浸透を望む意見があった。CRの考え方について消費者等への周知活動を引き続き行うことは重要である。

### (2) 3種類のCR容器を使用した感想

消費者の回答では、タイプ1と2は6割、タイプ3は7割が「全く不自由を感じなかった」「あまり不自由を感じなかった」と回答していた。不自由を感じた理由は、押し回しのタイプ1が「開けづらさ」が多く、キャップを後付けするタイプ2と3とでは「閉まったかが分かりづらい」が多かった。

協力薬局等では、「不自由を感じなかった」との回答は、タイプ1、2、3の順に多く、消費者の傾向とは異なった。タイプ1は、他の薬にも使用されていることから、薬局や保護者になじみがあり、使用に当たっての抵抗が少なかった一方、「調剤時に開けられず」支障があった等「開けにくい」とする意見が最も多かった。タイプ2は、調剤後のリング装着の負荷は少なく、消費者に依頼をしやすかったとの意見があったが、「閉まったかが分かりづらい」ことで、閉められず液漏れの原因になると懸念されている。タイプ3は誤飲防止のため、一度被せたカバーは外れないことが特徴であるが、調剤時にこのカバーがきつくてはめにくいことが不自由を感じた理由になった。

### (3) CR容器の効果の実際

本調査で使用したCR容器3タイプについては消費者の9割以上が「効果がある」「どちらかといえば効果がある」と回答した。協力薬局、薬剤部でもタイプに関係なく、8割から9割近くがその効果を認めると回答している。

しかし、回答の中には、実際に子供に開封を促すなどして「子供が開けた」、り、使用感から「この容器なら子供が開けられるかも知れ」ず、「効果がない」とした記述もあった。

調査からは、大人が「開けやすい」と評価するタイプは、誤飲防止効果が小さいと懸念され、逆に、年長の子供も開けられないと評価されたタイプは、大人の開封が難しく操作性への評価が下がる傾向が見られた。

C R 容器の設計は、各社ごとに開封時の操作性と誤飲防止効果とのバランスを考えて容器設計が行われており、また、子供の能力が年齢によって飛躍的に伸びることを考えると、容器の対象とする年齢を、例えば ISO8317 に定める 5 歳以下とするのか、水薬の誤飲報告がある 1 歳から 3 歳児程度とするかによって容器設計は全く違ったものとなる。各容器は、子供の誤飲防止のための取組の一つと評価されるべきものであるが、さらに普及を図るには、容器の効果を十分発揮する対象年齢や容器設計の思想について消費者や薬局等に明確に伝え、評価を受けていくことが重要である。

また、回答には「開封しづらいことで子供には開封できないと思い、テーブルに置いていた」といった記述もあり、C R 容器を「子供が使えないもの」と考える消費者もいたことから、そもそも C R とは「子供が絶対に開封不可能なものではなく、保護者が日常の管理を行った上での事故防止の一方策」であることも重ねて消費者に啓発する必要がある。

#### (4) 消費者の感じる必要性和薬局での今後の利用

C R 容器について消費者の 9 割以上が「必要だ」「どちらかといえば必要だ」と回答した。今後の利用についても、「利用してもよい」「どちらかといえば利用してもよい」を合わせると 89% に上る。

一方、薬局では「すでに使用している」、「今後は使用してみたい」、「今後はどちらかといえば使用してみたい」と答えた人はタイプ 1 で 46% なのに比べ、タイプ 2 では 23%、タイプ 3 では 22% に留まり、消費者の意識とは対照的だった。

薬局の回答からは、C R 容器の操作が煩雑であること、一つ一つ患者への説明が必要であることなど調剤時の手間が余計にかかること、コスト負担が増すこと、C R 容器使用に対する消費者の理解が得られないことが、導入をちゅうちょする理由として挙げられていた。C R の考え方に対しては賛同する意見は少なくなく、「薬の誤飲防止の取組としてはとても良かった。」「使いやすい容器があれば値段を考えた上で導入を検討しても良い。」との前向きな回答もあったことから、薬局等の考える課題を一つずつクリアすることが C R 容器の普及拡大に繋がると言える。

#### (5) 費用負担の問題

消費者の回答を見ると、その効果を認めるとの意見が多かったが一方で、費用負担に関しては、「自己負担はできない」が約 3 割で、「10 円増まで」「20 円増まで」との回答が続く。最も安価なリングであれば、消費者の 7 割の受容価格と合致するが、その他の容

器では価格が上昇し、受容できる消費者が減っていく。

水薬用容器の容器代を、誰が負担するのかは、非常に大きな問題である。協力薬局等の回答からは、無料で提供した本調査においても、C R 容器に対して好意的でない反応を示した消費者がいた様子も読み取れ、これらの消費者に価格負担を求めることは難しい。

また、水薬用容器が貸与であり、消費者に容器負担を求められない仕組みそのものが問題と考えられる。



#### (6) 総論

水薬C R 容器に関しては、消費者、協力薬局等及び協力薬剤部ともニュアンスの差こそあれ、総じてその必要性和効果を認めている。しかしながら、各容器の効果と子供の対象年齢、容器の費用負担の問題や、調剤時の負担、個々の消費者のC R に対する理解等の側面を考えると、普及に向けて取り組むべき課題が残されている。本調査では、消費や薬局等から容器の構造についても具体的な意見が寄せられている。東京都では今回の調査結果を関係各所に情報提供し、また、C R の考え方については折に触れて消費者への周知等を行っていく。

本報告書が、子供の誤飲防止対策の一助となれば幸いである。

添付資料

【資料】 消費者用調査票 往復はがきサイズ  
表面

 <p>科金受取人払郵便 川崎港支店 承認 5567</p>	<p>郵便はがき</p> <table border="1"><tr><td>2</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>8</td><td>9</td><td>0</td></tr></table>	2	1	0	0	8	9	0	<p>子供の水薬誤飲防止に関する調査へのご協力をお願い 東京都生活文化局消費生活部生活安全課 【調査受託】JFEテクノリサーチ株式会社</p>
2	1	0	0	8	9	0			
<p>差出有効期限 平成23年12月 31日まで有効です</p>	<p>川崎市川崎区南渡田町1番1号 JFEテクノリサーチ株式会社 ビジネスコンサルティング本部 ビジネスサポート部 ビジネスソリューショングループ 水薬用CR容器導入モデル調査係</p>	<p>東京都では、10月より11月まで、東京都薬剤師会・東京都病院薬剤師会の協力を得て、子供が開封しづらい容器について調査を行います。</p> <p>この調査の主たる目的は、子供の医薬品誤飲事故の未然防止を図るため、安全対策の一つである水薬用の子供が開封しづらい容器（CR容器）を都民の皆様実際にご使用いただき、使った方から感想を聞き、正しく操作できたかを吟味して普及にあたっての課題を明確にすることなどです。</p> <p>つきましては、調査期間中は東京都が提供する容器を使って水薬を調剤いたしますので、皆様には趣旨をお読み取り頂き、当該導入モデル調査へのご参加とアンケート調査にご協力いただきますようお願いいたします。アンケートの回収・集計に関しては、東京都が委託したJFEテクノリサーチ株式会社が行いますが、ご記入いただいた住所・氏名を当選商品の発送に利用する以外は、全て統計的に処理し、皆様にご迷惑をお掛けすることは一切ございません。</p> <p><u>なお、都の提供する容器は調査終了をもって配付を停止いたします。皆様にはご理解を賜りますようお願いいたします。</u></p> <p>*** ご記入に当たっての注意事項 ***</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 質問は裏面で、最大全9問と今回の利用状況に関する質問がございます。</li><li>2. お答えは、回答欄の選択肢に○をお付けください。</li><li>3. 質問項目に(複数)とあるものは該当するもの全てを選択してください。それ以外の質問はどれか1つを選択してください。</li><li>4. 投函有効期間は12月31日消印まで有効です。</li><li>5. <u>ご回答いただきました方の中から抽選で500名に、500円分の図書カードを差し上げます。</u>当選者は、商品の発送をもって発表にかえさせていただきます。</li></ol>							
	<p>※切手を貼らずに本紙を切り取ってご投函ください。 ※投函有効期間は12月31日消印まで有効です。 ※連絡先に不備がある場合、当選商品の発送ができない場合がございます。投函前に再度ご確認ください。</p>	<p>キ リ ト リ</p>							

裏面

- 1 子供の誤飲防止のため、子供が開封しづらい容器があります（水筒の容器に限りません）。このような容器があることをご存知でしたか。（一つ）
- (ア) 前から知っていて、使ったことがある
  - (イ) 前から知っていたが、使ったことはない
  - (ウ) 聞いたことがあるが、どのようなものかは知らなかった
  - (エ) 今回のモデル調査で初めて知った
- 2 今回のモデル調査の容器を使った感想をお聞かせします。
- (1) 一番近いものはどれですか。（一つ）
- (ア) 全く不自由は感じなかった
  - (イ) あまり不自由は感じなかった
  - (ウ) 少し不自由を感じた
  - (エ) とても不自由を感じた
- (2) 前問で(ウ) (エ) の「不自由を感じた」と回答した方にお聞きします。  
不自由に感じた点はどのような点ですか（複数）
- (ア) 開けづらいから
  - (イ) 握めづらいから
  - (ウ) 握り方や握め方が分からないから
  - (エ) 蓋をこぼしてしまった（しまいそうだった）から
  - (オ) 自分以外の人に授乳を頼むときに説明が必要だから
  - (カ) その他（内容は自由意見欄に）
- 3 子供の誤飲防止のためにこのような容器は必要だと思いますか。（一つ）
- (ア) 必要だ
  - (イ) どちらかといえば必要だ
  - (ウ) どちらかといえば必要ない
  - (エ) 必要ない
- 4 このような容器は子供の誤飲防止に効果があると思いますか。（一つ）
- (ア) 効果がある (イ) どちらかといえば効果がある
  - (ウ) どちらかといえば効果がない (エ) 効果はない
  - (オ) その他（内容は自由意見欄に）
- 5 このような容器の今後の利用について、一番近いものはどれですか。（一つ）
- (ア) 利用してもよい (イ) どちらかといえば利用してもよい
  - (ウ) どちらかといえば利用したくない (エ) 利用したくない
- 6 このような容器を利用することで容器の価格が上昇するとしたら、あなたが受け入れられる金額として、一番近いものはどれですか。（一つ）
- (ア) 自己負担はできない (イ) 10円増までならば負担できる
  - (ウ) 20円増までならば負担できる (エ) 30円増までならば負担できる
  - (オ) 40円増までならば負担できる (カ) 50円増までならば負担できる
  - (ク) 60円以上でも負担できる

- 7 子供用水筒の安全キャップや点火ボタンを蓋にしたライターなど、製品を子供に扱いにくくすることで、子供のケガや事故を予防するチャイルド・レジスタンス（GR）という考え方があります。この考え方をご存知でしたか。（一つ）
- (ア) 前から知っていた
  - (イ) 聞いたことがあるが、どのようなものかは知らなかった
  - (ウ) 今回のモデル調査で初めて知った
- 8 その他にご意見があれば自由意見欄へご記入ください。

【回答欄】

1	ア イ ウ エ
2 (1)	ア イ ウ エ
2 (2)	ア イ ウ エ オ カ
3	ア イ ウ エ
4	ア イ ウ エ オ
5	ア イ ウ エ
6	ア イ ウ エ オ カ キ
7	ア イ ウ
8	自由意見（設問番号等 ____）

- ・ 採筆日 \_\_\_\_月\_\_\_\_日
- ・ 回答者の年齢（薬を考えた方の年齢）  
(ア) 10歳代 (イ) 20歳代 (ウ) 30歳代 (エ) 40歳代 (オ) 50歳代 (カ) 60歳代以上
- ・ 性別（薬を考えた方の性別）  
(ア) 男性 (イ) 女性
- ・ 授乳対象のわんちゃん年齢  
(ア) 0歳 (イ) 1歳 (ウ) 2歳 (エ) 3歳 (オ) 4歳  
(カ) 5歳 (ク) 6歳 (ク) 7歳以上

この枠内に保護シートを貼ってください

- ・ 氏名
- ・ 郵便番号
- ・ 住所



【資料】リーフレット（A5版 中折）

### 子供を守る考え方「チャイルドレジスタンス」

チャイルドレジスタンスのロジとは、薬品を子供が思いにくく接触にすることで、子供のケガや事故を予防する考え方です。

子供にとって危険な薬品は、周りの大人がきちんと管理することは、とても大切です。しかし、いくら気を付けていても、取り返されてしまう事故があります。そのようなときには、薬品やのものを壊壊して、子供では使えないような工夫をすることが必要です。



例えば、思い付いてライターやごみ箱の蓋が開いてはいけないので、子供が触れられないようにしてあります。

### 「くらしの安全情報サイト」をご活用ください

くらしの安全情報サイトでは、商品・サービスを中心とした食品・飲料・安全性についての情報を提供しています。また、都庁内の消費生活センターなどの「くらしの安全相談窓口」一覧も掲載しています。

**くらしの安全情報**

**事故に遭った時、商品やサービスに原因があると思われる場合には、消費生活センターなどの相談機関に申し出ましょう。**

東京都消費生活総合センター  
 相談受付電話：03-3708-1105 (受付時間：10時～18時)  
 ●東京都内16区消費生活センター

1. 東京都消費生活総合センター  
 〒100-8201 東京都千代田区千代田1-1-1  
 東京都消費生活総合センター 電話：03-3708-1105

東京都消費生活総合センター 100

## 薬の誤飲を 防ぎましょう!



### 知っていますか?

子供が薬品を誤飲して医療機関を受診した件数は、タバコに次いで多くなっています。

誤薬は、子供が誤飲すれば、体に影響を及ぼす恐れがあります。



品名	誤飲した子供の人数	入院した子供の人数
タバコ	約 1000	約 100
薬品	約 600	約 50
その他	約 50	約 5

※東京都消費生活総合センター調べ（平成25年度）

**医薬品は適切に保管し、正しく利用しましょう**

東京都

## チャイルド・レジスタンス容器の開閉方法と注意点について

### タイプ1:

ふたの色: 黄色

【開け方】ふたを上から押しながら回してください。  
空回りするとカチャカチャと音がします。

【閉め方】普通にふたを閉めます。

【注 意】開けるときに容器を斜めにしてしまうと、  
薬がこぼれるおそれがあります。



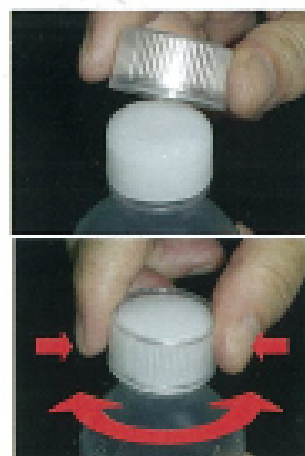
### タイプ2:

ふたの色: 白色

【カバーリングのつけ方】薬を入れてふたをしてから、  
カバーリングをふたの上からはめてください。

【開け方・閉め方】親指と人差し指でリングをはさみ、  
内側に力を入れながら、内キャップごと回してください。  
リングが空回りせず開け閉めができます。

【注 意】ふたを閉めるときは、必ずリングをはさみ、  
最後まできちんと閉めてください。薬がこぼれる  
おそれがあります。リングは他社のふたには合いません。



### タイプ3:

ふたの色: 青色

【セーフキャップのつけ方】薬を入れてふたをしてから、投薬  
瓶にセーフキャップを「パチン」と強くはめこんでください。

【開け方・閉め方】開閉時はツメの部分を強く押して回して  
ください。ふたが空回りせず開け閉めができます。

【注 意】ふたを閉めるときは、必ずツメの部分を押さえて、  
最後まできちんと閉めてください。薬がこぼれるおそれ  
があります。セーフキャップは他社のふたには合いません。



## 東京都「子供の水薬誤飲防止に関する調査」ご協力のお願い

東京都生活文化局消費生活部生活安全課

このたびは、東京都実施の調査へのご協力を賜り、誠にありがとうございます。

協力薬局・薬剤部(科)様には、患者様のご家族に対し、子供が開けにくい容器（以下、「CR容器」と言います。）の配付とアンケート調査への協力依頼について、よろしくお取り計らいくださいますよう、お願いいたします。

### 1. 調査目的

CR（チャイルドレジスタンス）の考え方や安全な容器の周知、消費者や薬局・薬剤部(科)様に実際に試した感想を聞き、普及にあたっての課題を明確にすることなどです。

### 2. 調査期間 平成23年10月から11月末日の2ヶ月間

### 3. 調査内容

- (1) 調査期間中、協力薬局・薬剤部(科)様で小児用水薬を調剤する際に、同梱のCR容器を実際にご使用ください。
- (2) 患者様のご家族には、アンケートはがきなどをお渡しいただき、CR容器についての感想を返信いただくようお願いください。
- (3) 協力薬局・薬剤部(科)様には、後日、別途、使用感等のアンケートをお送りします。  
※ 本調査は、東京都が委託したJFEテクノリサーチ株式会社がアンケートの回収・集計を行います。

### 4. 協力薬局・薬剤部(科)様から、患者様のご家族にお渡しいただくもの

- (1) お薬の入ったCR容器（60mlまたは100ml）
  - (2) アンケートはがき（CR容器のふたと同じ色のもの）
  - (3) 個人情報保護シール
  - (4) リーフレット「薬の誤飲を防ぎましょう！」
- ※ 患者様のご家族にCR容器とアンケートはがきをお渡し頂く際、本調査の目的、容器の開閉方法、はがきでの回答要領につきご説明ください。
- ※ 集計の際、はがきの色で容器の種類を識別しますので、CR容器のふたと同じ色のはがきをお渡しください。

### 5. 調査に関する問い合わせ先

JFEテクノリサーチ株式会社  
[東京都：生活安全課商品安全係]

(参考)

## 水薬用CR容器の導入モデル調査 Q&A

Q1 今回の調査の目的は何ですか。

☞ CR(チャイルドレジスタンス)の考え方や安全な容器を知ってもらうこと、消費者や薬局・薬剤部(科)様に実際に試してもらい感想を聞き、普及にあたっての課題を明確にすることなどです。

Q2 調査の規模や時期・期間はどれくらいですか。

☞ 都内の254薬局・薬剤部(科)様にご協力いただきます。  
期間は10月から11月末日までの2ヶ月間です。

Q3 薬局窓口で配るCR容器とはどのようなものですか。

☞ キャップを一度押し込んでからまわすなど、子供がふたを簡単に開けられないような工夫を取り入れた、誤飲事故を防ぐための容器です。

Q4 薬局窓口でCR容器をどのように渡すのですか。

☞ 60mlと100mlの水薬用CR容器を配付いたしますので、ご家族のニーズに応じて薬局・薬剤部(科)様の判断でお渡しく下さい。

Q5 薬局窓口で手渡す時にどのようなことを説明するのですか。

☞ 患者様のご家族にCR容器とアンケートはがき等をお渡し頂く際、本調査の目的、容器の閉鎖方法、はがきでの回答要領につきご説明ください。

Q6 アンケートではどのようなことを聞くのですか。

☞ 患者様のご家族へは使われた感想をお尋ねします。別途、協力薬局・薬剤部(科)様にも操作性や説明された際のご家族の反応などについてお尋ねします。

Q7 調査終了後に余ったCR容器やはがきは どうしたらよいですか。

☞ どちらも調査終了後に廃棄されて結構です。余ったCR容器は薬局・薬剤部(科)様のご判断でサンプルとしてご利用されてもかまいません。

Q8 調査期間が終わった後、窓口での対応は元通りでよいですか。

☞ 元通りのご対応で結構です。調査後にCR容器の導入を薬局・薬剤部(科)様に強いるものではありません。

Q9 調査終了後に患者様のご家族からCR容器の希望があったらどうなりますか。

☞ 患者様のご家族へアンケートをお願いするはがきに、東京都の提供する容器は調査終了をもって配付を停止する旨を明記してご理解を頂きます。

## 配付CR容器の開閉方法と注意点

### タイプ1

- 【開 け 方】** ふたを上から押しながら回してください。  
空回りするとカチャカチャと音がします。
- 【閉 め 方】** 普通にふたを閉めます。
- 【注 意】** 開けるときに容器を斜めにしてしまうと、  
薬がこぼれるおそれがあります。
- 【ふたの色】** 黄色



### タイプ2

- 【カバーリングのつけ方】**  
薬を入れてふたをしてから、カバーリングをふたの上からはめてください。
- 【開け方・閉め方】**  
親指と人差し指でリングをはさみ、内側に力を入れながら、内キャップごと回してください。リングが空回りせず開け閉めができます。
- 【注 意】** ふたを閉めるときは、必ずリングをはさみ、最後まできちんと閉めてください。薬がこぼれるおそれがあります。  
リングは他社のふたには合いません。
- 【ふたの色】** 白色



### タイプ3

- 【セーフティキャップのつけ方】**  
薬を入れてふたをしてから、投薬瓶にセーフティキャップを「パチン」と強くはめこんでください。
- 【開け方・閉め方】**  
開閉時はツメの部分を強く押して回してください。ふたが空回りせず開け閉めができます。
- 【注 意】** ふたを閉めるときは、必ずツメの部分を押さえて、最後まできちんと閉めてください。薬がこぼれるおそれがあります。  
セーフティキャップは他社のふたには合いません。
- 【ふたの色】** 青色



## 東京都からお送りしたもの

東京都からは次の(1)～(5)をお送りしています。ご確認ください。

(1) CR容器 300本

タイプ	内容	内訳
1 		① 60ml容器：50本（10本／袋EOG滅菌） ② 100ml容器：50本（10本／袋EOG滅菌）
2 		① 60ml容器：60本（15本／袋電子線滅菌） ② 100ml容器：40本（10本／袋電子線滅菌） ③ カバーリング：100個
3 		① 60ml容器：50本（1本／袋電子線滅菌） ② 100ml容器：50本（1本／袋電子線滅菌） ③ セーフティキャップ：100個

(2) 患者様のご家族用アンケートはがき（黄、白、青）各100枚 計300枚

※ ご家族には、CR容器のふたと同じ色のはがきを1枚お渡しください。

(3) 個人情報保護シール 300枚

(4) リーフレット「薬の誤飲を防ぎましょう！」300枚

(5) ポスター「薬の誤飲を防ぎましょう！」B4 1枚（薬局掲示用）



▲ リーフレット(A5)



▲ 薬局掲示用ポスター(B4)

【資料】 掲示用ポスター (B4版)

# 薬の誤飲を防ぎましょう!

子供による医薬品類の誤飲事故は、タバコに次いで多く発生しています!



**保護者の方へ**

医薬品は、子供が誤飲すれば、体に影響を及ぼすおそれ大きいものです

**医薬品は適切に保管し、正しく利用しましょう**



- 医薬品は子供の目につかない場所や手の届かない場所に保管する

**子供が開けにくい工夫がされた容器包装があります**



- 子供が開けにくい構造になっていて、子供の誤飲を防止する

**東京都**

このポスターの複製・転載は、生活文化局 健康推進課に許可を得る。 電話 03-3268-2321 (健康課) 東京都健康・安全・福祉推進課 健康課

【資料】 協力薬局等用調査票 A4版 両面 表面

薬局・薬剤部用  
調査票

このたびは、東京都の「子供の水薬誤飲防止に関する調査」にご協力を賜り、誠にありがとうございます。本容器を実際に使用した感想や患者様のご家族の反応等について、本票の設問にご回答いただき、同封の封筒にて期限までにご返送くださいますようお願いいたします。

ご返送期限：平成23年12月7日(水)

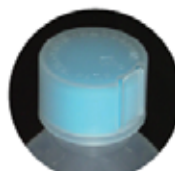
東京都生活文化局消費生活部生活安全課



タイプ1



タイプ2



タイプ3

1. 子供の誤飲防止のため、子供が開封しづらい容器（以下、「CR容器」）があります（水薬の容器に限りません）。このような容器があることをご存知でしたか。

(ア) 前から知っていて、使ったことがある (イ) 前から知っていたが、使ったことはない  
(ウ) 聞いたことがあるが、どのようなものは知らなかった (エ) 今回のモデル調査で初めて知った

2. 開封するときにCR容器を使ってみてどのように感じられましたか。タイプ1～タイプ3それぞれの容器について一番近いものに○をつけてください。また、その内容について、自由意見欄に具体的に記入してください。

	タイプ1	タイプ2	タイプ3
(ア) 全く不自由は感じなかった			
(イ) あまり不自由は感じなかった			
(ウ) 少し不自由を感じた			
(エ) とても不自由を感じた			
自由意見			

3. このCR容器を使ってお客様に薬を渡すときに、どのような説明を行いましたか。行った項目に○をつけてください（複数可）。また、お客様への説明の中で配慮が必要だと感じた点があればお教えてください。

	タイプ1	タイプ2	タイプ3
(ア) 開ける方法			
(イ) 閉める方法			
(ウ) 開け閉め時の注意点			
(エ) 薬の保管方法 (子供の手の届かない所へ保管)			
説明で配慮が必要だと感じた点			

4. お客様の反応はどのようなものでしたか。対応をして感じたことでも結構です。

タイプ1について…

タイプ2について…

タイプ3について…



裏面

5. CR容器は子供の誤飲防止に効果があると思いますが、あてはまる項目に○をつけてください。

	タイプ1	タイプ2	タイプ3
(ア) 効果がある			
(イ) どちらかといえば効果がある			
(ウ) どちらかといえば効果がない			
(エ) 効果はない			

6. 薬局としてCR容器の今後の使用について、一番近いものはどれですか。あてはまる項目に○をつけてください。また、そう思われた理由をお教えてください。

	タイプ1	タイプ2	タイプ3
(ア) すでに使用している			
(イ) 今後は使用してみたい			
(ウ) 今後はどちらかといえば、使用してみたい			
(エ) 今後どちらかといえば、使用したいとは思わない			
(オ) 今後も使用したいとは思わない			
理由			

7. 子供用水薬の安全キャップや点火ボタンを重くしたライターなど、製品を子供に扱いにくくすることで、子供のケガや事故を予防するチャイルド・レジスタンス(CR)という考え方があります。この考え方をご存知でしたか。(一つ)

- (ア) 前から知っていた
- (イ) 聞いたことがあるが、どのようなものかは知らなかった
- (ウ) 今回のモデル調査で初めて知った

8. その他、ご意見があれば記入してください。

9. その他

- (ア) 郵便番号
- (イ) 住所
- (ウ) 薬局名
- (エ) ご担当者名

## 東京都「子供の水薬誤飲防止に関する調査」ご協力をお願い

東京都生活文化局消費生活部生活安全課

このたびは、東京都実施の調査へのご協力を賜り、誠にありがとうございます。  
協力薬剤部(科)様には、子供が開けにくい容器（以下、「CR容器」と言います。）をご確認いただき、アンケート調査にご協力くださいますようお願いいたします。

### 1.調査目的

CRの考え方や安全な容器の周知、薬剤部(科)様に実際に試した感想を聞き、普及にあたっての課題を明確にすることなどです。

### 2.調査内容

協力薬剤部(科)様で、送付のCR容器をご確認いただいた上で、同封のアンケートにご回答ください。  
※本調査は、東京都が委託したJFEテクノロジー株式会社アンケートの回収・集計を行います。

### 3.回答締め切り 平成23年11月25日(金)(消印有効)

### 4.協力薬剤部(科)様にお送りしたもの

- (1) CR容器 3本



- (2) アンケート用紙 1枚

- (3) アンケート返送用封筒 1枚

- (4) リーフレット「薬の誤飲を防ぎましょう!」A5 2枚

- (5) ポスター「薬の誤飲を防ぎましょう!」B4 1枚



▲リーフレット(A5)



▲掲示用ポスター(B4)

### 5.調査に関する問い合わせ先

JFEテクノロジー株式会社  
(東京都：生活安全課商品安全係)

## 配付CR容器の開閉方法と注意点について

### タイプ1

ふたの色：黄色

【開け方】 ふたを上から押しながらかまわしてください。  
空回りするとカチャカチャと音がします。

【閉め方】 普通にふたを閉めます。

【注 意】 開けるときに容器を斜めにしてしまうと、  
薬がこぼれるおそれがあります。



### タイプ2

ふたの色：白色

#### 【カバーリングのつけ方】

薬を入れてふたをしてから、カバーリングをふたの上からはめてください。

#### 【開け方・閉め方】

親指と人差し指でリングをはさみ、内側に力を入れながら、内キャップごと回してください。  
リングが空回りせず開け閉めできます。

【注 意】 ふたを閉めるときは、必ずリングをはさみ、  
最後まできちんと締めてください。薬がこぼれる  
おそれがあります。リングは他社のふたには合いません。



### タイプ3

ふたの色：青色

#### 【セーフティキャップのつけ方】

薬を入れてふたをしてから、投薬瓶にセーフティキャップを「バチン」と強くはめこんでください。

#### 【開け方・閉め方】

開閉時はツメの部分を強く押し回してください。  
ふたが空回りせず開け閉めできます。

【注 意】 ふたを閉めるときは、必ずツメの部分を押しえて、  
最後まできちんと締めてください。薬がこぼれるおそれ  
があります。セーフティキャップは他社のふたには合いません。



【資料】 協力薬剤部用調査票 A4版 両面 表面

薬剤部(科)用  
調査票

このたびは、東京都の「子供の水薬誤飲防止に関する調査」にご協力を賜り、誠にありがとうございます。本容器を実際に使用した感想等について、本票の設問にご回答いただき、同封の封筒にて期限までにご返送くださいますようお願いいたします。

ご返送期限：平成23年11月25日(金)

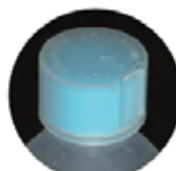
東京都生活文化局消費生活部生活安全課



タイプ1



タイプ2



タイプ3

1. 子供の誤飲防止のため、子供が開封しづらい容器（以下、「CR容器」）があります（水薬の容器に限りません）。

このような容器があることをご存知でしたか。

- (ア) 前から知っていて、使ったことがある
- (イ) 前から知っていたが、使ったことはない
- (ウ) 聞いたことがあるが、どのようなものかは知らなかった
- (エ) 今回のモデル調査で初めて知った

2. CR容器を開封した感想として、一番近い項目に○をつけてください。また、その内容について、自由意見欄に具体的に記入してください。

	タイプ1	タイプ2	タイプ3
(ア) 全く不自由は感じなかった			
(イ) あまり不自由は感じなかった			
(ウ) 少し不自由を感じた			
(エ) とても不自由を感じた			
自由意見			

3. このCR容器を使ってお客様に薬を渡すとしたら、どのような説明が必要でしょうか。項目に○をつけてください（複数可）。その他、お客様への説明の中で配慮が必要だと感じた点があればお教えください。

	タイプ1	タイプ2	タイプ3
(ア) 開ける方法			
(イ) 閉める方法			
(ウ) 開け閉め時の注意点			
(エ) 薬の保管方法 (子供の手の届かない所へ保管)			
説明で配慮が必要だと感じた点			

裏面

4. CR容器は子供の誤飲防止に効果があると思いますか。あてはまる項目に○をつけてください。

	タイプ1	タイプ2	タイプ3
(ア) 効果がある			
(イ) どちらかといえば効果がある			
(ウ) どちらかといえば効果がない			
(エ) 効果はない			

5. 薬剤部(科)としてCR容器の今後の使用について、一番近いものはどれですか。あてはまる項目に○をつけてください。また、そう思われた理由をお教えください。

	タイプ1	タイプ2	タイプ3
(ア) すでに使用している			
(イ) 今後は使用してみたい			
(ウ) 今後はどちらかといえば、 使用してみたい			
(エ) 今後どちらかといえば、 使用したいとは思わない			
(オ) 今後も使用したいとは思わない			
理由			

6. 子供用医薬品の安全キャップや点火ボタンを重くしたライターなど、製品を子供に扱いにくくすることで、子供のケガや事故を予防するチャイルド・レジスタンス(CR)という考え方があります。この考え方をご存知でしたか。(一つ)

- (ア) 前から知っていた
- (イ) 聞いたことがあるが、どのようなものかは知らなかった
- (ウ) 今回のモデル調査で初めて知った

7. その他、ご意見があれば記入してください。

8. その他

- (ア) 郵便番号
- (イ) 住所
- (ウ) 薬剤部(科)名
- (エ) ご担当者名

【資料】 消費者（都民）からの回答

回答者の属性

回答者の年齢・性別					
有効回答数：					5,056
記号	内訳	女性	男性	無回答	計
(ア)	10歳代	22	2		24
(イ)	20歳代	666	33		699
(ウ)	30歳代	3,302	212		3,514
(エ)	40歳代	722	65		787
(オ)	50歳代	14	7		21
(カ)	60歳代以上	7	4		11
	無回答	10	2	79	91
	無効	4	1		5
計		4,747	326	79	5,152

投薬対象のお子さんの年齢		
有効回答数：		4,930
記号	年齢	人数
(ア)	0歳	1,190
(イ)	1歳	1,273
(ウ)	2歳	876
(エ)	3歳	682
(オ)	4歳	398
(カ)	5歳	251
(キ)	6歳	116
(ク)	7歳以上	144
	無回答	37
	無効	185
計		5,152

回答集計

記号	回答内容	タイプ1	タイプ2	タイプ3	計
Q1	子供の誤飲防止のため、子供が開封しづらい容器があります（水薬の容器に限りません）。このような容器があることをご存知でしたか。 単一回答	有効回答数： 5,130			
(ア)	前から知っていて、使ったことがある	661	432	456	1,549
(イ)	前から知っていたが、使ったことはない	180	120	112	412
(ウ)	聞いたことがあるが、どのようなものかは知らなかった	152	111	103	366
(エ)	今回のモデル調査で初めて知った	1,138	808	857	2,803
	無回答	10	5	7	22
計		2,141	1,476	1,535	5,152

Q2	今回のモデル調査の容器を使った感想をお聞きします。 (1) 一番近いものはどれですか。 単一回答	有効回答数： 5,119			
記号	回答内容	タイプ1	タイプ2	タイプ3	計
(ア)	全く不自由は感じなかった	666	425	629	1,720
(イ)	あまり不自由は感じなかった	642	471	465	1,578
(ウ)	少し不自由を感じた	721	486	380	1,587
(エ)	とても不自由を感じた	98	84	52	234
	無回答	14	9	9	32
	無効		1		1
計		2,141	1,476	1,535	5,152

	(2) 前問で(ウ)(エ)の「不自由を感じた」と回答した方にお聞きします。不自由に感じた点はどのような点ですか。 複数回答	有効回答数： 2,724			
記号	回答内容	タイプ1	タイプ2	タイプ3	計
(ア)	開けづらいから	692	306	219	1,217
(イ)	閉めづらいから	101	298	180	579
(ウ)	開け方や閉め方が分からないから	31	48	25	104
(エ)	薬をこぼしてしまった(しまいそうになった)から	60	54	29	143
(オ)	自分以外の人に投薬を頼むときに説明が必要だから	195	144	118	457
(カ)	その他	68	82	74	224
無効	無効	2	5	1	8
計		1,149	937	646	2,732

Q3	子供の誤飲防止のためにこのような容器は必要だと思いますか。 単一回答	有効回答数： 5,123			
記号	回答内容	タイプ1	タイプ2	タイプ3	計
(ア)	必要だ	1,265	858	935	3,058
(イ)	どちらかといえば必要だ	688	489	481	1,658
(ウ)	どちらかといえば必要ない	137	89	86	312
(エ)	必要ない	36	32	27	95
	無回答	15	7	6	28
	無効		1		1
計		2,141	1,476	1,535	5,152

Q4	このような容器は子供の誤飲防止に効果があると思いますか。 単一回答	有効回答数： 5,124			
記号	回答内容	タイプ1	タイプ2	タイプ3	計
(ア)	効果がある	1,497	890	905	3,292
(イ)	どちらかといえば効果がある	578	506	526	1,610
(ウ)	どちらかといえば効果がない	30	37	39	106
(エ)	効果はない	9	16	16	41
(オ)	その他	16	20	39	75
	無回答	11	5	10	26
	無効		2		2
計		2,141	1,476	1,535	5,152

Q5	このような容器の今後の利用について、一番近いものはどれですか。 単一回答	有効回答数： 5,122			
記号	回答内容	タイプ1	タイプ2	タイプ3	計
(ア)	利用してもよい	1,432	961	1,076	3,469
(イ)	どちらかといえば利用してもよい	477	335	325	1,137
(ウ)	どちらかといえば利用したくない	166	124	95	385
(エ)	利用したくない	50	49	32	131
	無回答	15	7	6	28
	無効	1		1	2
計		2,141	1,476	1,535	5,152



Q6	このような容器を利用することで容器の価格が上昇する としたら、あなたが受け入れられる金額として、一番近い ものはどれですか。 単一回答	有効回答数： 5,106			
記号	回答内容	タイプ1	タイプ2	タイプ3	計
(ア)	自己負担はできない	654	473	489	1,616
(イ)	10円増までなら負担できる	562	404	396	1,362
(ウ)	20円増までなら負担できる	317	217	223	757
(エ)	30円増までなら負担できる	282	180	216	678
(オ)	40円増までなら負担できる	10	8	4	22
(カ)	50円増までなら負担できる	241	136	156	533
(キ)	60円増までなら負担できる	54	44	40	138
	無回答	19	9	10	38
	無効	2	5	1	8
計		2,141	1,476	1,535	5,152

Q7	子供用水薬の安全キャップや点火ボタンを重くしたライターなど、製品を子供に扱いにくくすることで、子供のケガや事故を予防するチャイルド・レジスタンス(CR)という考え方があります。この考えをご存知でしたか。 単一回答	有効回答数： 5,088			
記号	回答内容	タイプ1	タイプ2	タイプ3	計
(ア)	前から知っていた	947	663	725	2,335
(イ)	聞いたことがあるが、どのようなものかは知らなかった	508	330	330	1,168
(ウ)	今回のモデル調査で初めて知った	656	467	462	1,585
	無回答	30	16	18	64
計		2,141	1,476	1,535	5,152



水薬用チャイルドレジスタンス容器  
導入モデル調査報告書

平成 23 年度 3 月発行

登録番号 ( 23 ) 93

発 行 東京都生活文化局消費生活部生活安全課

所在地 〒163-8001 東京都新宿区西新宿 2-8-1

電 話 ( 03 ) 5388-3055 ( ダイヤルイン )

本書は、再生紙を使用しています。(表紙用紙を除く。)